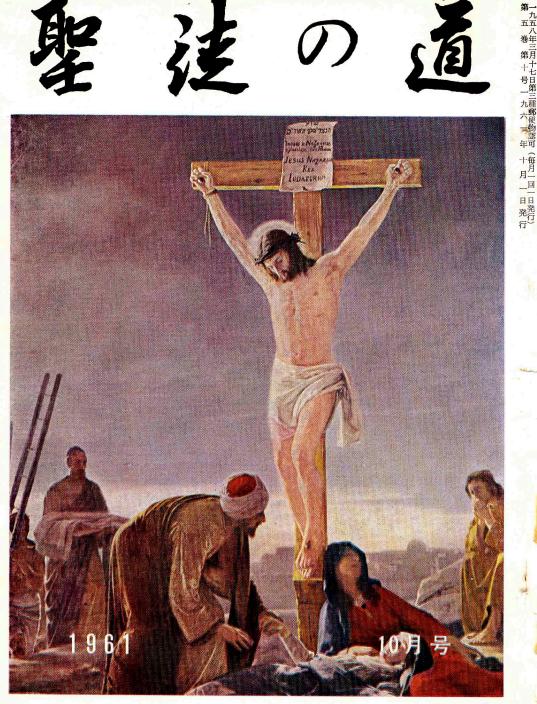
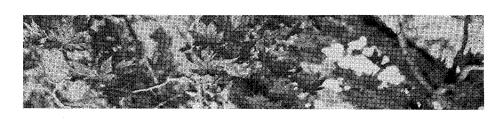
## 首

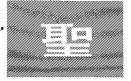


末日聖徒イェス IJ ト教会



予言 けいず……『日本の基礎民族は希伯来選民の正裔なり』………… 支部だより………金沢支部の開拓者記念日…………… 幹部メッセージ……「凡て汝の得たる物をもて聡明をえよ」 **伝道部長メッセージ……………………………ポール•C•**アンドラス…五五七 への答……「完全なる」福音について………ジョ 者 のことば……「より善い世界のために」…大管長 仙台支部大会……………… 西中央地方部大会………………………………………………………… 北海道地方のジュニアークラス紹介……… 私 詞..... セフ・フィ セオドル•M•バート デビド•〇•マッ ルディ 小谷部 ング・スミス…五六八 村 全 ケイ…五五二 幸里子:: 五八八二五八八八九八九八九七二二十2二十十2二十十211121113111311141115111611171117111811191119111< 郎 猪…五五九 ·五八六 ·五八〇 五七九 五七六 ·五七四 五七二 ·五六三

1961年10月号



く

日曜学校ガイド………十 子供日曜学校ガイド……十 メルケゼデク神権…… アロン神権……ブランチ•ティーチング•レッスン…「世の終り」…十 

第一長老定員会の計画…十

一月用…………

天 南 野

通

五九

沢 田

輝

由

月用……

…五九三

·五九八

·五九六 ·五九四 私

証 ......

喜 び ح

希 望....

MIAエンサインローレル教科課程「あなたの古ランプを取引きする前に MIAリーダー.....

キリスト教会歴史粋……ジョセフ・フィールディ

魔物に出て来いと言いなさい」…………

ング・スミス…六〇九

六〇六

六一三

四

伝道本部だより…… 練習の讚美歌………… 末日聖徒イエス・









### 予言者のことば

## 、より善い世界のために」

## 大管長 デビド・0・マッケイ

に努めている。 善いところにする必要を感じ、指導する地位に立つ人々は常に世界をより善い状態にするよう 親の抱いている信仰には疑問がなげかけられ、 られて顧りみられない状態にある。私たちは思想と生活様式との革新にとりまかれて居り、 今住んでいる時代もけっして例外ではない。人道――「人のふみ行うべき道」はほとんど捨て 的経済的状態に不満を覚えて、これをより善くするような変化をいつも求めている。 に「ハーパース・ウイークリイ誌」にのった記事である。 い」という記事に注目していただきたい。これは干八百五十七年、すなわち今から百年以上前 重大なそして深刻な不安を感ずる時があったろうか。現代ほど前途の不安に満ちている時はな ちた時代であって、前途の見込みが最も少い時代であるといつも考える傾きがある。 であると受け入れられていた信仰や教えに対して冷酷な打撃を加える新しい思想を生んだ。 共産主義、 世界の歴史を見ると、どんな時代でも、考え深い人々は、自分たちの住んでいる時代の社会 たとえば「今は歴史上最も陰うつな時である。この記事を読む人々の生涯のうちにこれ 類がこの世界を支配するようになってからこのかた、 社会主義、全体主義などは、近ごろまで根本的なものであり論争の余地の しかしながら、人類は自分の住んでいる時代が、歴史上おそらく最も困難に満 古い理想は捨てられている。 地球上に住む人々は常に世界をより 私たちが な ほ

不正は余りにも多い。

道徳的や宗教に対する懐疑は非常に明らかにあらわれて居り、

米英両国が模範である民主々義は第一、第二大戦の恐怖にも首尾よく

政界の詭弁、

ごまかし、

堪え抜いたが、第二大戦後の現在、あらゆる新聞の見出しは、 と共に威嚇とその威嚇に対抗する威嚇とでほとんど毎日紙面をうずめている。 危機についで危機があらわ n

サタンは、 いたいと言った。ここに独裁至上の一例が見られる。 もしも世界が平和であるならば、愛の原則が力の原則にとって代らなくてはならない。 力づくであらゆる人間を敷おう、しかしその代りに主の誉れと栄光とは自分がもら 太初にサタンはあらゆる人間を力でもって神の意志に従わせることを申し出

家庭に対する忠誠と個人に対する忠誠の念を養うにある。以上三つの制度がその使命を全うす 仰を植えつけなくてはならない。学校教育の主な目的は、人格を修養し、政府に対する忠誠 なくてはならない。教会は家庭に代って霊の訓練を彼らに与え、 される。人は家庭でその子供らに物質上の生活を与えているが、その上彼らに霊の教育も授け 教会、第三に学校、第四に政府である。国民の基礎と将来とは家庭の正しい訓練によって左右 しないかぎり、自分の良心のままに行うことができる。これこそ真の民主々義の精神である。 人類の成功と幸福との基になっているところの制度が四つある。それは第一に家庭、第二に これにくらべて、主の計画は人類に自由意志を与えることであった。人は他人の権利を侵害 教会へ来る子供たちの心に信

意によって得られる権能を具えた政府がもっと多くなる必要があることに諸君の注意を向けた にある。 平和は自己主義の中にはなくて、この世界をより善くより幸福にする助けを与える努力の中 より善い世界をつくる要素を挙げて言うに当って、第一に私は、支配される人々の

なく、これらを保護し且つ導かなくてはならない

これらに保護を与えるのが政府の責任であるが、

政府はそれを行うに当って独裁的で

るよう、

くっている人々の人格によることが多い。 この世界をより善くするには、選挙をする有権者が自由でありまた教育ある人々でなくては しかしながら、より善い世界をつくるには、 政府の種類よりはむしろその政府をつ

通して人 与える薬であ もしも人がより善い世界を欲するならば、 と利己主義にとって代らなくてはならぬことが明らかである。 は神から霊感を受け、より高いまたより善い生活に向 る。 これがなかったなら、 人類は堕落するであろう。 健康な思 Ų١ やりの ある思 っ てますます進んで行くこと 希望と理想とあこが 想と感情 理想は が 進歩に刺戟 ね た

りむつかしいように思 今日全世界の できる たとえ一時的 人々は平和を切望しているが、この平和 に平和 わ れる。 が得られ r てもそれ しも平和が永遠 は永つずきし の原則という固 を得ることは戦争で勝利を得ることよ ないにちがいない あ上 に樹てられ

いう立場から神を見ない を自分の存在の中心とするとき、人は人生に新しい目的のあることを自覚するようになる。 の意味をよく考えていただきたい。 まず の主たる目的ではなくて霊の高所 主なる神がシナイの山でモーセに授けたもうた永遠の原則の第一は「あなたは、 内なる生活」 境地 なにものをも神としてはならない」であった(出エジプト記二十〇三参照)。 国と神の義とを求めなさい」というキリストの戒めである はや、 へ達することができる。 を完全に神に服従させることによっ すべての で、 動物のするように飲み食いをして体の欲を満すことだけが毎 何を神に捧げ得るかという立場から神を見なくてはならない。 平和獲得の一要素として、神聖に 人が神を誠心から自分の父なる神であると信じて、 へ達することが主な目標となる。 てのみ、 利己的 人は神から何を得るか な汚れ して且つ永遠なるも (マタイ伝六〇三十三参 た肉の わ 力の及ば た Ĭ

アペテロ が囚人として裁きの と同様 欲情よりも高い境地 「力」という意味をもたせたい。その「力」こそ人間がこの世の生活に於て動物的 」(使徒行伝四○十二)と永遠の真理をはっきりと言った。 に大切 わ たしたちを救い なの は 座に立たされ へ昇ることのできる「力」であり、 神の御子を人類 得る名は た時に発した言葉は単なる反抗の これ の敷 Ų٦ を別 主として受け入れることであ にしては、天下のだれにも与えられ また人間 私はこの 言葉ではなかっ の身も心も枯れ枯 口 ては Ξ

ネ

うち勝ちまたは抵抗することのできる「力」である。 して世界の平和ばかりでなく神の王国の市民たる資格までも受けられないようにする社界悪

いであろう。 しかし、人類が「生けるキリスト」の示したもうた道をふみ行わないなら平和はけっして来な 人類は平和を切望し、平和を叫び求め、平和を得るために努力することもできるであろう。

由を信ずると公言していることを忘れないようにしよう。 際的指導者たちが彼ら自身を創りたもうた「創り主」を否定し、また彼ら自身を贖いたもうた ってもよいというわけはない。大部分の人々はやはり立派な正しい人々であって、一般にその しくは二十人の人々が不正直であり不正であることがわかっても、万人に対して信頼の念を失 しても隣人を信頼して居られようか」と言うが、私はそれに対して答える、たとえ二人三人も とは、隣人をいつも信頼することである。人は「万人がこんなに腐敗堕落しているとき、どう 贖い主」を否定しようとも、その国家の数の十倍に及ぶ国家の人々がなお神を信じ個人の自 人類が心の平和を得て結局国家間に平和のあらわれるためになくてならない第三の大切なこ

守る責任のある原則、すなわち自由意志の賜という生命の次に貴い賜である。 三つの原則に、私は第四の原則をつけ加えよう。これは四番目の根本原則であり、また人類の 神を信ずる信仰、キリストを人類の救い主であると信ずること、隣人に対する信 頼 一以上

悪をなくし、愛と平和と兄弟の愛とを全世界に弘めることこそ私たちの最も大切な義務であ

活を送ろうではないか。 世界に悲しみと不幸とをまきちらしている社界悪を、 とをもって将来に直面するつもりであるならば、私たちは個人であれ団体であれ模範となる生 私たちは現在世界中にはびこって人類に非常な悲しみと堕落とをもたらしている社界悪、 将来がどうあろうと、もしも私たちが静かな心と人間万事神がつかさどりたもうという確信

で減らすように心して努めようではないか。



ポール・C・アンドラス

月間再び努力を新たにして働いているにちがいありませ いる目標を達成するために十月、十一月、十二月の三カ 人もしくはそれ以上の改宗者を得るよう割り当てられて 任宣教師は一人のこらず、これまで一人当り一ヵ月に二 ん。これは、専任宣教師の一人一人はこの「改宗者獲得 -改宗者獲得の三カ月」と命名しています。 千九百六十一年最後の三ヵ月を北部極東 伝 道 部 では 伝道部の専

せることができるのであります。 人々をこの「改宗者獲得の三ヵ月」間に救いの道に入ら す。教会員と宣教師との一致協力によりまして、多くの も一人の改宗者を教会に入れていただきたいのでありま 員は一人のこらず、今から今年の終りまでの間に少くと うことであります。これによりまして、当伝道部の教会 の改宗者を教会に入れてもらいたいと言われているとい 教師は本年度最終の三ヵ月間に十二人もしくはそれ以上

入れてもらいたい、言葉を換えて言えば、二人一組の宣 の三ヵ月」間に六人もしくはそれ以上の改宗者を教会に

返して要求されました。

用され、今やこの教授計画は世界中にある当教会全体を 通じて実施されております。この新しい教授計画に関聯 た「伝道部長研究会」で世界一様の新しい教授計画が採 先月私が発表しましたように、最近アメリカで開かれ

> 少くとも一人の改宗者を教会に入れてもらいたいとくり は、今また一人のこらずの教会員が宣教師となって毎年 効力があります。それにもかかわらずマッケ イ 大 管 長 の改宗者を教会に入れてもらいたいと言われました。こ ケイ大管長は教会員の一人のこらずが毎年少くとも一人 になるよう新しく訴えておられます。 の要求はこれまでに取り消されたことなく従って今なお して、マッケイ大管長は教会員の一人のこらずが宜教師 何年も前に、マッ

う。 によってもあなたの目標を達成することができるでし ようそれらの人々を宣教師に紹介するか、どちらの方法 か、または宣教師がそれらの人々に教えることのできる あなたは福音をあなたの親戚または友だ ち 私はこの記事が活字になる前に「新しい教授計画 に 教 える

が伝道本部から入手できるようになることを望んでいま

りきめをするべきであります。もしあなたが実際に福音 きには、 が自分自身で親戚や友だちに教える力がないと感ずると す。私は教会の会員が一人のこらずこの「新しい教授計 め直ちに使い始めることを提案いたします。 画」をすぐ一部手に入れてほかの人々に福音を教えるた あなたに代って宣教師に教えてもらうように取 もしあなた

えを受けている人々にあなたの証詞を述べるべきであ

'n

あなたはその集りに出て宣教師から教

道部の歴史以来始めて一年間にバプテスマの数が干を越

えるという歴史的記録をうち立てる非常によい立場に立

伝道部長メッセージ あなたが福音を自分自身で教えても、また福音を

今すぐ計画を立てて働らきを始めるべきであります。 宗者獲得の三ヵ月」に達成する目標を満足させるため 教えるために宣教師をたのんでも、どちらにしても「改

今年はこれまですでに当伝道部の歴史あってこの

最大の年になる様子を見せています。昨年度すなわち干

れから先、

マ二十九であります。これによりまして、当伝道部はこ

昨年のレコードを破ってさらに上まわり、

伝

は果して如何ばかりぞや」(教義と聖約十八○十─十六)。 び大いならば、汝らもし多くの人を導き来らばその喜び るバプテスマ二十六、 るバプテスマ六十四、

そのほか教会員の子供のバプテス 末日聖徒である米国軍人団体によ

御父の国にわれ

の許に導きたる唯一人につきて汝らの悦

任宣教師によるバプテスマ五百十六、

非専任宣

藙師

力を尽し、唯一人の人たりともわれに導か

ば、わが御

ぶことに 而

さてわ

国に於て彼と共に汝らの悦び如何ばかりぞや。

汝らもし生涯今の世の人々に向いて悔改めを叫 世の人々に悔改めを叫ばんために召さるるなり。

六百三十五に上るバプテスマが行われ、その内わけは専

三十一であります。今年は八月三十一日附を以てすでに

るバプテスマ四十八、末日聖徒である米国軍人団体によ 任宣教師によるバプテスマ八百十三、非専任宣教師によ

るバプテスマ三十五、

その他教会員の子供のバプテス

彼の悦びは如何に大いなるか。これを以て、

中より再びよみがえれり。

而して、

悔い改むる人を見て

汝らは今の

の人々悔い改むるならば彼に連れ行かんために、

らんために、すべての人々の苦を受けたり。

彼はすべて

— 558 —

死 人

0

部の歴史中最も成功した年であります。昨年中に行われ

たバプテスマの数は九百二十七に上り、その内わけ

は

専

九百六十年十二月卅一日までの一年は、

現在まで当伝道

なり。

ť,

そは汝らの贖い主なる主は肉体にて死を受けたれ これを以て彼はすべての人々の悔い改めて彼に来

人の値は神の前に大いなることを憶えよ。

見

た

「汝ら、

蹟をあげることは

なお可能であります。

するならば、

宣教師が一人のこらずその目標を達成するために努力を

本年一年間に合計千五百から二千の間

っております。この「改宗者獲得の三ヵ月間」に会員

# 「天の王国―神の王国」(ニ+九)

る。

#### 佐 藤 龍 猪

# 願わくは天の王国の来らんため、まず神の王国を出で

教義と聖約六十五〇六

いうのである。

また主イエスがたとえ話の中で「天国と

### 天の王国 (The Kingdom of Heaven)

行かせたまえ 「これを以て、

日の栄の王国(「教義と聖約」七十六〇七十 徒らは「聖められたる者たち」(「教義と聖 に忠実に従い、最後までこれを守り行う聖 二十一・二十二参照)すなわち福音の律法 はキリストの律法(「教義と聖約」八十八○ て言う。この世に在って日の栄の律法また ₩「天の王国」とは父なる神の住みたもう 九十二、八十八〇四・二十参照)を指し

約」八十八○二参照)となって、復活をし だけがはいるのである」(マタイ伝七〇二十 く、ただ天にいますわが父のみ旨を行う者 Kingdom of Heaven) にはいるのではな 老「モルモンの教義」三八二頁参照)。 国」に住むことができる(マッコンキー長 た後この日の栄の王国、すなわち「天の王 「主よ、主よと言う者が、みな天国(the

> 長老「モルモンの教義」三八二頁参照)。 能と道とを具えた神の真の教会がこの地上 の王国」(天国)と呼ばれる (マッコンキー に在るとき、その地上の教会はいつも「天 にある「天の王国」に入ることのできる権 地上にも「天の王国」(天国)がある。天上 口天上に「天の王国」(天国)があると共に ー長老「モルモンの教義」三八二頁参照)。 「天の王国」にほかならない(マッコンキ 参照)と言ってある「天国」とはこの 「悔い改めよ、天国 (the Kingdom of

dom of Heaven) が近づいたと宣べ伝え Heaven) は近づいた」(マタイ伝三〇二、 中にある「天国」とは、地上の「天の王国」 よ」(マタイ伝十○七参照) などの聖句の 四〇十七参照)、「行って、天国 (the King (天国) すなわち神の真の教会のことであ

> 会を管理指導する権能をお与えになったと は、これらの者に天国すなわち神の真の教 六〇十九および十八〇十八参照)。その意味 国のかぎ」をお授けになった(マタイ伝十 イエスはペテロとすべての使徒たちに「天 この「天の王国」(天国)に関聯して、主

義」三八二頁参照)。 ある(マッコンキー長老「モル モ ン の 教 なものである」とお言いになっているので 主イエスは「神の真の教会とは……のよう 三章参照)とお言いになっているとき、 は……のようなものである」(マタイ伝第十

とおり、地にも行われますように」(マタ る。聖徒たちが主イエスに教わって「御国 にいただいて全世界を統治する 王 国 とな 王国」である教会はイエス・キリストを王 of Heaven) である。キリストの再臨によ はずの王国も「天の王国」(the Kingdom 宮「福千年」の期間中に全世界を統治する イ伝六○十参照)と祈っているとき、 が来ますように、みこころが天に行われる って「福千年」が始まると、地上の「天の

⊖予言者ジョセフ・スミスは「天の王国は 二、「神の王国」(The Kingdom of God 二三〇頁参照)。 願っているのである(「救いの教義」第一巻 国」を父なる神が地上に遣わしたもうよう が行われるような、この「福干年の天の王 らは政治上にも宗教上にも完全に義の統治 末の日に神

からし種の如し、されば見よ、

ある。

(天の王国)とならむことの祈願」として

御名によって教えと導きを施こす権威と権

能を授けたもうた義人が地上に在るとき、

う予言者、祭司もしくは義人の在るところ 巻二六八頁参照)と言っているから、 八頁参照)とも言っている。 また予言者は「神がその神託を下したも 『神の王国』あり」(教会歴史第五巻二六 「天の王国」である。 故に、 教会は

三九九頁参照)。 このように「天の王国」 と「神の王国」

「神の王国」でもある(「教義と聖約の註釈」

う日の栄の王国を指して言うときには「天 て使われるが、とくに父なる神の住みたも とは共に「神の真の教会」を指す言葉とし の真の教会」を指しては「神の王国」と言 の王国」(天国)と言い、地上に於ける「神

う

(「教義と聖約」の註釈」三九九頁参照)。

すなわち一つは天上に於ける「神の御国 王国は、 は「神の王国と天国(天の王国)とは別 他は地上に於ける「神の御国」である。 の名前なること。すでに地上に来れる神 「教義と聖約」第六十五章のまえがきに いよいよ進み行きて末ついに天国

口「神の王国」(神の御国)としての教会。

教会」は「神の王国」すなわち地上に於け 神の真の教会「末日聖徒イエス・キリスト

る「神の御国」である(マッコンキー長老

末日聖徒の教会にあらずや」(教会歴史第二 のみいつをあらわして頭を上ぐるものこそ

王国」はすでに地上に樹てられた。 「モルモンの教義」三八〇頁参照)。 「神の この

……そしてこの国は立って永遠に至るので つの国」(a Kingdom)を立てられます。 神の王国」こそダニエルが「天の神は

の福音」であるからである。 樹てられた。 に在った時はいつの世に於てもこの地上に であって、これと同じ国は福音がこの地上 す」(ダニエル書二〇四十四)と予言した国 「敷いの計画」は「神の王国

のものである。 一神の王国はペンテコステの日に至るまで 教会と「神の王国」(神の御国)とは同 予言者ジョセフ・スミスは

者でなければ人を救うことはできない、

ま

この地上に樹てられていなかったと言う人 樹てられていた。神がその言薬を啓示し、 に至るまで、 言う、神の王国はアダムの時代から今の世 のバプテスマを宣べ伝えなかったと言う人 々がある、またヨハネは罪を赦されるため 々がある。 しかし私は、主の御名によって いつの世に於てもこの地上に

下したもう予言者、祭司、もしくは義人が 神の王国は何より成るか。神がその神託を である。 あるとき、そこに神の王国がある。され 司が在るとき、 を行う権威と権能を神から授かった神の祭 また福音の儀式を執り行い神権によって職 「神の王国のないところに救いは そこには神の王国があるの ない。

ものである。 すべての儀式、 しこれらがないところに神の王国はない 神託のないところに神の王国はない。 のでなければ人の子たちにとって益のない 管理は、 のあるとき、いつも神の王国がある。しか 「人々が神のみこころを 知 る こ とが 神から法にかなって認可された管理者 神によって定められ認可されたも 法にかなって任命された管理 制度、 および地上に於ける

らきを始める前に、

各自が管理する会員た

ストを王にいただき、

政治上にも宗教上に

が、その職員たちが各々の地位について働

十九、三十八〇二十二参照)イエス・キリ

て立法者たる」(「教義と聖約」四十五〇五

ある「啓示のみたま」によって 選 ば れる

二七一一二七四頁参照)。い」と言った。(「ジョセフ・スミスの教え」い」と言った。(「ジョセフ・スミスの教え」らも天使からも承認を与えられる 者 は なた法にかなって任命された者のほかに神か

教会という一つの組織をつくっている人々教会(神の王国)の律法を定めるのは、白教会(神の王国)は民主々義ではない。

参照)。

しかしながら、

神が神の予言者を通して

ち教会の会員たちによって教会の会員たち

から成る団体が定めるのではない―すなわ

であったが定められるのではなくて、のための律法が定められるのではない。すべての(神の王国)は民主々義ではない。すべての(神の王国)は民主々義ではない。すべてのことは天の王国の王である主イエス・キリストが

四・三十五、四十一○九─十一、百二○九十七、二十六○二、二十八、三十八○三十六はならない(「教義と聖約」二十○六十一六ちから「支持の挙手」を正式に受けなくて

によって決定するという条項はどこにもならまって決定するということはない。教会員はある特殊のうということはない。教会員はある特殊の啓示をその他の聖句と並んで公表するために支持の挙手を行うことがあるかも知れない。しかしながら、主の計画の中には、教と員が啓示をその他の聖句と並んで公表するためというという。

「モルモンの教義」一四一、三八一頁参照)。「モルモンの教義」一四一、三八一頁参照)での王国」(天の王国)または「神の御国」での王国」(天の王国)または「神の御国」で「神ない」が行われる。この時現在地上の「神ななり」が行われる。この時現在地上の「神ななり」が行われる。この時現在地上の「神の王国」。「福千年」

い。啓示は啓示である(マッコンキー長老

国での権权には、いこあればの関係にある。(この稿「天の王国」闫参照)となる。(この稿「天の王国」闫参照)となる。

て、諸国の者はみな彼らに仕え、彼らに従に与えられる。彼らの国は永遠の国であっ国々の権威とは、いと高き者の聖徒たる民国々の権威とは、いと高き者の聖徒たる民

・ 「大きに、「はない」(グニエル書七○二十七参照)、「その主権は永遠の主権であってなくなることがない」(グニュル書七○二十七参照)、「そのう」(グニェル書七○二十七参照)、「その

教義」三八一参照)。 している(マッコンキー長老「モルモンの上ている(マッコンキー長老「モルモンの子言を王国」または「天の王国」について予言をエル書七○十四参照)と福干年中の「神の

上の「神の王国」である「神の真の教会」(第六十五章のまえがき参照)は、現在地も栄光あらせたまえ」という祈り の 言 葉神よ、かくして天に於ける如く、地に於て神よ、かくして天に於ける如く、地に於て神よ、かくして天に於ける如く、地に於てっこれを以て、願わくは天の王国の来らん「これを以て、願わくは天の王国の来らん

キー長老「モルモンの教義」三八一頁参照)。んことを祈り求めるものである(マッコン時に全世界を司さどる「天の王国」となら五参照)この先キリストが再び来りたもうが全地に充ち満ちて(ダニエル書二〇三十

「教義と聖約」第六十五章

節

にある

ξ

地上に於ける「神の御国」

末日聖徒イ

ホ

イットマー、

ピーター・ホイットマー

シドニー

リグドン、

フレ

デリッ

が出席した。

そしてこの大会に於てサム

管長会が組織された。これより前千八百三

G・ウイリヤムスを副管長とする最初の大

よびザイバ・ピーターソン以上五名の長老

ス・キリスト教会

「神の御国」(神の王国)である末日聖徒 神の真の教会」である故に地上に於け

リカ、 イエ

ア

司に、ハイラム・ページおよびクリスチャ

いた。

は大神権の長として支持を受け聖任されて トの大会に於てジョセフ・スミス(二代目) 十二年一月二十五日、オハイオ州アマース

スミスの兄)およびマーテン・ハリスが祭 ス(初代)、ハイラム・スミス (ジョ ル・H・スミスが長老に、ジョセフ・スミ

セフ・

ン・ホイットマーが教師に按手 聖任 され

最初の大会の終った時に会員の総数は

十八日、ジョ 田最初の大祝福師。

セフ・スミス(初代)は、

ジ

3

によって最初の大

千八百三十三年十二月

六人の会員により初めて組織された。これ ト、ピーター・ホイットマーの宅に於て、 <del>台</del>千八百三十年四月の六日火曜日に、 ス・キリスト教会は ニューヨーク州セネカ郡フェイヤッ

モルモンの教義 らの人々はジョセフ・スミス(二代目)、ハ

た。

教師二名であった。

二十七名、そのうち長老七名、祭司三名、

イラム・スミス(ジョセフ・スミスの兄)、

サムエル・

H・スミス(ジョセフ・スミス

オリヴァ・カウドリ、デビッド

ター・ホイットマー(1

ホイット

ار ا

۲°

に於て最初の大祭司が聖任された。この時 の出席者二十三名。予言者ジョセフ・スミ

ートランドに於て開かれた第四回目の大会 白最初の大祭司。千八百三十一年六月、

力

たちが使徒となる人々を選び、ライマン・

月十四日、「モルモン経の三人の見証者

祝福師に按手聖任された。 セフ・スミス(二代目)

Eジョンソン、ブリガム・ヤング、ヒー

— 562 —

最初の「七十人」が按手聖任され

として按任された。それから十四

目の

バー・C・キンボールの三人が初めに使徒

当教会最初の外国伝道 在に至っている(「救 これ以来末日聖徒イエス・キリス 「神の御国」 V 部で の教義」第一 いある。

他最初の外国伝道部。 千八百三十七年に ーヅ等の長老が オルソン・ハイ たのが、 イ E

は急速に発展して現 ト教会

すなわち

の時教会の役員としてジョセフ・スミス(1

オリヴァ

カウドリ、

デビッド

八日、

ジョ

セフ・スミス(二代目)を大管

||一員初の大管長会。 会」が成立した。 督として選び、

千八百三十三年三月十

ヨーク州フェイヤットに於て開かれ、こ

□最初の大会は千八百三十年六月九日ニ

「教義と聖約」二十一〇一参照

長老」と記録の中に誌されることとなった

任命されていたが、

この時ジョン・コリル

ングランドのランカシャー

およびアイザック・モ

1

「当教会書初の監 レーの二人を副監 ワード・

パートリッジはすでに監督として

トリッジも大祭司に按手聖任された。エド 祭司に聖任された。またエドワート・パ

イエス・キリストの使徒および教会の

の日啓示によって、

ジョセフ・スミス

はこれより「聖見者、

翻訳者、

および第二長老として支持され

た

またこ

ウドリの二人は、

それぞれ教会の第

大祭司の聖任を受け、ついでライマン・ワ

スは最初ライマン・ワイトの按手によって

イトは予言者の按手による当教会最初の大

1

ーバー・C・キンボー

ル

ウィラード・

リチャ

₽

セフ・スミス(二代目)とオリヴァ・カ

であった。この教会の創立に際しジ

二三三頁参照)。

#### 幹部メッセーシ



凡て汝の得たる物をもて聡明をえよ

十二使徒会補助

セオドル・M・バートン

く感じます。私は皆様の信仰と友情に支えられて、その確信と愛を愛する兄弟姉妹の皆さん、私はただいま私に課せられた責任を強

身に感じながら私が何か皆様のためになることが話しできますよう

に祈っております。

この大会で皆様のすばらしい説教を聞いています時に、涙さへ出て来て、彼らが私たちの心へ植えつけようとしている、責任感を強にされたのであります。何と言っても、私たちは偉大な、高貴な目的のために選ばれたのであります。私たちは選民であり祝福され聖任されたのであります。実際に於て特別な責任のために予任されたのであります。それゆえに私たちは、この責任を慎重に考任されたのであります。それゆえに私たちは、この責任を慎重に考にされたのであります。それゆえに私たちは、この大会で皆様のすばらしい説教を聞いています時に、涙さへ出この大会で皆様のすばらしい説教を聞いています時に、涙さへ出この大会で皆様のすばらしい説教を聞いています時に、涙さへ出

率仕することができます。私たちはイエス・キリストの神性を教えることによって最もよく

私は以前、毎秋ユタ・スティト大学で化学の講義をしていましたれたのです。

イッチか、ケーキかクッキーかあるいはまた実際に化学的実験のたこの答えが彼らにこの箱の中に何が入っているだろうか、サンド「これは組織的な化学の生命のパンです」

これは子供の玩具そっくりで若い学生たちが私の研究室に来た時、 中には玉と棒と固く巻いたコイルが一ぱい入っております。実際に を造って遊ぶ)が一ばい入っているのを見て驚きます。確かにその ました。彼らは箱の中に玉棒玩具(玉と棒を組合せていろいろの形 の時に私はその箱を開き、その中に何が入っているかを彼らに示し めのパンだろうかと言う好奇心をそそったのであります。後で講議

ってあることであります。 化学者は、この玉棒玩具を使って復雑な組織体のモデルを構造す

遊ばせるのであります。この玩具と普通の玉棒玩具との相違は玉が 私が彼らを楽します必要のある時は実際に彼らにそれを玩具として

赤、紫、黒、白の各色に途られ穴が玉の極めて正確な角度にほ

たはセルロイドの組織を学生に示すのに、この玉棒玩具を使って分 るのです。例へば私が、炭水化物の講議をする時、砂糖又は澱粉ま

かを示さねばならない時に私はこれらの玉と棒と一片の針金を用い 子の構成を説明するのです。また私が蛋白質の講議をする時にアミ て、これを示すのであります。 ノ酸の構成、またこれらがいかに結合して蛋白質の分子を形成する

学者がその講議に玉棒玩具を用いるのがあまりに幼稚だと批判する のは馬鹿げたことではないでしょうか? 次に他の部分を作りその部分部分を結合してついに彼がデモンスト があります。彼は正しくこの玉棒玩具を用いて始めの部分を作り、 レートしようとしていたところのものを示したのでありました。化 その用い方がその価値を決めるのであります。一方に於てこれ 私は曾て国際的に有名な化学者の酵母の組織の講議を聴いたこと

子供の玩具でありますが他方に於て、これが高い学識のある化学者

われるでしょう。でもエリは告げられたように行わなかったからで り予言者でもあったエリのような人に語らなかったのか不思議に思 ます。けれどもどうして神はたとえば昔のイスラエルの大祭司であ またいかなる場所においても必要な時にこれを用いられるのであり とをちゆうちょしません。私たちに神の道具であり、神はいつでも 用な低能児の手中にあっては無価値なものとなります。 ばらしいものとなります。逆に最も立派な道具または機械でも不器 具でなく結果を見るのです。単純な道具も名工の手中にあってはす 道具のことに言及すれば神は必要な場合に単純な道具を用 いるこ

の手中にある時は有益な道具となるるのであります。賢者はその道

を治めることができず、また導かなかったからであります。 た。彼らは神権の世嗣でありましたが怠け者で悪くエリはよく彼ら す。彼は゛゙ホフニ゛と゛゚ピネハス゛の二人の 子供を 持っていまし そこで主は誰か他を選ばねばなりませんでした。主は小さな少年

時、サムエルは、すでに老人となっていたが主に告げられたのでエ サムエルに言いました。 サイの家に行きエリアブを選ぼうとしました。けれどもその時主は 後にサウル王が不従順になったので代えなければならなくなった

見るところは人に異なり人は外の貌を見、 (同上十六・七) \*その容貌と身長を見るなかれ。我すでにかれをすてたり。 エホバは心を見るなり、

このようにしてアビナダブ、 シヤンマ 七人のエサイの子が皆通

人はみなサムエルがエホバの予言者であることを知りました。 答えました。そこでダンからベエルシバにいたるまでイスラエル を選び、サムエル、と呼んだ時サムエルは、僕きく語りたまえ、と

は苦になりました。 で生が、ダピデはよく導かれる者であったので主の御手の内に有用ります。ダピデはよく導かれる者であったので主の御手の内に有用に告げました。何となれば彼は素直に聞き従う子であったからであり過ぎました。そこで主はサムエルに少年牧者のダビデを選ぶよう

聖文に記されています彼ら自身の判断を見てみましょう。
アンナ又はその婿のカヤバは選ばれなかったのでありましょうか?
アンナ又はその婿のカヤバは選ばれなかったのでありました。どうしてこの学問もあり能力もある人たちは選ばれませんでした。どうしてこの学問もあり能力もある人たちは選ばれませんでした。どうしてこの学問もあり能力もある人たちは選ばれませんでした。どうしてこの学問もありましょうか。紀元前三十七年から紀元六十八年の間によっています彼ら自身の判断を見てみましょう。

りや。律法を知らぬこの群衆はのろわれたる者なり。(ヨハネ伝七惑されしか、司たち又はパリサイ人のうち一人だに彼を信ぜし者あごとく語りし人は未だなし」パリサイ人らこれに答う「なんじらもら問う「なに故かれを曳き来らぬか」下役ども答う「この人の語るら問う「なに故かれを曳き来らぬか」下役ども答う「この人の語る

四五一四九)

換言すれば彼らは神の息子を信じた人たちをのろったのであります。そして主はその約束を果し、すべてを回復すべき時が来た時、ったのであります。神はそのような人を用いることはできなかったのであります。神はそのような人を用いることはできなかったのです。そして神は末日に神の王国のすべてを回復することをったのです。そして神は末日に神の王国のすべてを回復することをったのです。そして神は末日に神の王国のすべてを回復することをったのであります。神はそのような人を必要としたのであります。

こうとしないし又聴くことができないからであります。次のようなものをお用いになることがでないのです。なんとなれば私たちは聴召されなかったのでしょうか、同様の理由で主は私たちの内のあるどうして主は学問のある当時の神学者や、経験のある牧師たちをどうして主は学問のある当時の神学者や、経験のある牧師たちを

主の言葉があります。

"されど見よ、われ誠に汝らに告ぐ。汝らの中聖職に按手任命さうとせず、聴こうとしないのであります。福音が私たちの周囲に光り輝いて子供でも見ることができります。福音が私たちの周囲に光り輝いて子供でも見ることができめます。福音が私たちの周囲に光り輝いて子供でも見ることができめます。福音が私たちの周囲に光り輝いて子供でも見ることができるにもかかわらず多くの場合、私たちはその目や耳を閉じて、見よるにもかかわらず多くの場合、私たちはその目や耳を閉じて、見よれたる者は多し、而して、われ诚に汝らに告ぐ。汝らの中聖職に按手任命さうとせず、聴こうとしないのであります。

一少年、へりくだって神に聴き従おうとし、自分の知恵に頼らず、一少年、へりくだって神に聴き従おうとし、自分の知恵に頼らず、すらを入びした。彼らは純朴でまだ教育されていませんでした。けりませんでした。彼らは純朴でまだ教育されていませんでした。けりませんでした。彼らは純朴でまだ教育されていませんでした。けりませんでした。彼らは純朴でまだ教育されていませんでした。けりのある人でありました。学問のある人でありました。学問のある人でありました。学問のある人でありました。学問のある人でありました。学問のある人である知識を持ち、教育と勉学と経験によって真理を学ん知り、大いなる知識を持ち、教育と勉学と経験によって真理を学ん知り、大いなる知識を持ち、教育と勉学と経験によって真理を学ん知り、大いなる知識を持ち、教育と勉学と経験によって真理を学ん知り、大いなる知識を持ち、教育と勉学と経験によって真理を学ん知り、大いなる知識を持ち、教育と勉学と経験によって真理を学んが、大いなる知識を持ち、教育と勉学と経験によって真理を学んが、大いなる知識を持ち、教育と勉学と経験によって真理を学んが、大いなる知識を持ち、教育ともでは、

非常に学問ある人となったのであります。これらの人を私たちはこば生徒もより偉大になります。この故に神に教育されたジョセフはジョセフは神に教育されたのであります。教師がより偉大であれ

ができると感じております。けれども彼らの大部分が、これらの主 された人が信仰や宗教の分野においても教養ある意見を述べること の専門家であると思いこんでしまう。ある限られた分野でよく教育 た、あまりにも多くの人がその部門の専門家たることを以て全学問 の学問は危険であります。学問の小さなある一部門の専門家となっ です。これが鍵なのです。小学とは知識の始めであります。

と英智とを得ば未来の世においてそれだけ利を得べし。。 (同上 りて精励従順によりこの世において他の人よりも一層勝れたる知識 よみがえりの時われらと共によみがえるべし。さればもしある人あ けもしできることなら最高学府の教育を受けるように努めなさい。 教えることはできないのです。できるだけすべての正式の教育を受 "およそ、われらのこの世において達する英智の一切は何にても その必要性が増大している時、ここに大きな知的背教の危険が生じ すべてに心を閉じてしまっているのです。 らはあまりにも少ししか知らないのです。彼らは人間の哲学以外の のです。そこで私は問題は彼らがあまり多く知っている からでな て居ります。私が見るにそれは閉ぢられた心であります。私たちが く、知ったふりをしすぎることにあると思います。実際において彼 題に就て何ら学ぶこともなくまたそのクラスに出席したこともない 兄弟姉妹の皆さん、今日私たちの教会で教育が益々普及し、益

- 566

私たちに与えられた次の主の言葉を絶体的に信じなさい。

"神の栄光は英智なり、(教義と聖約九三・三六)

ての正式な学問を修めなさいと申します。私たちは知らないことを 教会の指導者たちが常に語っているように貴方のできる限りのすべ は精神的に頼れる人ではないということも信じません。むしろ私は 対するものでもありません。私はまた人々に大学教育を拒むように

私は無知を弁解するものでありません。また私は正式の教育に反

すすめるものでもありません。私は単に博士号を持っているだけで

とするなら私たちを教育することができるからであります。 それは彼らが神から教育されたのでもし私たちが心を開いて聴こう の大会で予言者、聖見者、啓示を受ける者として支持しましたが、

ん゛(コロサイ書二・八)

の小学とに従い、人を惑す虚しき哲学をもて汝らを奪い去る者あら

兄弟姉妹の皆さん、私はこの、小学、と言う言葉を強調したい

「おお悪魔の狡猾な謀ごとよ。おお人間の虚栄と意志の弱さと愚さ

、なんぢら心すべし、恐くはキリストに従わずして人の言伝と世 ず、自分独りで解ると思って神の訓戒をうち捨てるから、その智恵 いことである」(ニーファイ第二書九・二八一二九) る。しかし人間がもしも神の訓戒に従うならば、学問のあるのも等 は愚であって何のためにもならず、かれらはついに 亡 び る のであ よ。人間は学問があると自分は賢いと思って神の訓戒に 耳を 何が知的背教をもたらすのでしょうか?なぜある学問のある男

三〇•一八一一九) \*人は無智にして救わるること不可能なり、(同上一三一・六)

私はバウロと同様の警告をもって語らねばなりません。 ての知識人にとって好ましいものであると私は信じます。けれども けた男女の科学者たちを見ます。大学教育は、男女を問わず、すべ 評議員として祝福師として幹部として召された人々、高い教育を受 私は眼前に、この教会の中で監督としてステーキ部長として高等

モルモン経で読むようにヤコブはこれを美しく教えております。

ちょうど予言者がこれを次のように言って居ります。 かそうとするのです。頭に来てしまっていることが問題なのです。 印象づけようとするからです。下品にもそれを鼻にかけ、見せびら 虚栄と傲まんによるものであります。彼らはその学問を以て他人に しょうか? どうしてそうなったのでしょうか? それは主として 最上の大学で同じ思想を身につけたのです。彼らは証を失ったので 私たち数百数千の者が同様に教育されたものです。私たちも国家の 女は信仰から離れるのでしよょうか?それは学問ではありません。

うち捨て、神の前に自分らを愚な者だと思って低くへりくだるので なければ、神はかれらに門をお開けにならない。(同上九・四二) いやしみたもう者たちであるから、もしもかれらがその誇る所を、 る智者、自分の宝があるからとて誇る富者、これらは皆主なる神が 自分の学問があるからとて誇る学者、自分の智恵があるからとて誇 ヤコブは言いました。 "そして門を叩く者には誰にでもこれを開きたもうのであるが、

ず、能力ある者おおからず、能力ある者おおからず貴きもの多から ります。パウロは働き手は道具よりも大切であると教えています。 ているに過ぎません。ほんの知恵の始まり、初歩に過ぎないのであ 自分の学んだすべてを以てしても学ばねばならぬ世界の門口に立っ 何か新しいものを学ぼうとする人でなければなりません。私たちは られるでしょう。けれどもその人はへりくだった、よく教えを聴き 最も熟練した能力のある最上に教育された人を見つけてお用いにな き手の熟練さによるものであることを心してください。神は必ず、 道具の単純さがその価値を決するのでなくてその道具を用いる働 、兄弟よ、召を蒙れる汝らを見よ、肉によれる智き者おおから

> ず、されど神は智き者を辱かしめんとて世の愚なる者を選び、強き 神に立てられて汝らの智恵と義と聖と救贖とに為り給へり、 からんためなり、汝らは神に頼りてキリスト・イエスに在り、 省を辱かしめんとて弱き者を選び………これ神の前に人の誇る事な

掲げられています。 タ・スティト大学の図書室に聖書から引用した金文字の宣言が (コリント前書一・二六一二七 二九一三〇)

ユ

しキリストを愛し、その神性の証が彼の胸に燃えているなら彼はつ 何なる運命、障害にも立ち向うことができるのであります。人がも ります。人がもしその心にこの知識を持つなら、その人は人生の如 であり、最大なる学問であり、最もたよりになるところのものであ 学問及び智恵の根本であります。これが人が持ち得る最大なる知識 すなわち真の保証というものはイエス・キリストの神性を知る知識 すべてのことを学んで円満な男女になりなさい。私は今日、安全感 からもたらされるものであることを証し致します。これがすべての なりません。私は若い人たちに学びなさい、そして得たところのす いに勝利者となるのであります。 べてをもってさとりなさいとおすすめします。精神に、心に魂に、 、智恵をえよ、凡て汝の得たる物をもて聡明をえよ。(箴言四・七) 私たちは心と肉体を養わねばならないと同様に智恵をみがかねば

者たちに続けて現れ給うことをも証し致します。

とを皆さんに証します。又彼は自らを現し給い、その僕である予言

私はイエス・キリストが死より復活えり、現在生きて実在するこ



宣べ伝えられ」というのでありますが、兄弟たちの一人は、モルモ

と恵みによりて他の人々に対して確認され、この人々によりて世に

載せたり。またこの書は霊感によりて与えられ、天の使たちの導き 邦人並びにユダヤ人に与うるイエス・キリストの完全なる福音とを を彼に与えたり。この書の中には、堕落したる或る民の記録と、塁

り備えたりし方法により、

モルモン経を飜訳するために天より能

いる言薬に関聯して疑問が起りました。その言薬というのは

前よ

この間の集りで「教義と聖約」第二十章八―十節にのって

#### 音 「完 な る 福 に 全

りの心で物事を見ようではないか、そうすればこの啓示の中には一 む人間の側にある。どの会員でもよい、その会員は心の中で、ショ ある。間違いは主にあるのではなくて、この言薬に疑いをさしはさ きちんとすることであるが、主がこの啓示をお下しになったときに 人々をだましたと考えるであろうか。 うそをお言いになったと考えるなら、それはむしろおかしなことで っとよくなっとくの行くよう助けを与えて下さいませんでしょうか 「フ・スミスは事実を全く一致しないことを主の御名を使って誌し クラスの人々がもっとよい解答を求めるということは物事を われわれはもっと注意深く祈

ることがわかるにちがいない。

つの間違いもなくて、

主は本当のことをはっきり言っておいでにな

たが、この説明でクラスの生徒たちは満足ができませんでした。も れていない部分に「完全なる福音」が確かにあるだろうと答えまし ると思いました。私たちのレッスンの先生は、まだ原版から飜訳さ なその他のことも載っていないから、この言葉の中には間違いがあ ン経の中には神殿の儀式のことも、私たち自身や死者の救いに必要 四年前に第三の天まで引き上げられた――それが、からだのままで 第二の手紙第十二章二節以下で次のように言っている。 て、日の栄の最高の境地に達した人々に始めて明らかになるにちが こともなければ、死ぬべき身をもっている人間に理解のできること う。このような真理はどのようにしても死ぬべき身の必要に適する られもしなかったし、また現在われわれに与えられもしないであろ でもないからである。これらの真理は神の国に 属す る ものであっ なければならない。これらの真理はかってニーファイ人たちに与え た死ぬべき身の人間に関係のないことが多くあるという事実を認め 最高の境地に属することで、今これを受けることもできないし、ま る間に啓示されることもないであろう。われわれは、日の栄の国の ない。日の栄の国の最高の境地に属する真理でまだ啓示されていな らゆる真理がモルモン経の中にのっているという意味も含まれてい 中に誌してあるという印象を与えようとはなさらなかった。またこ がこの神権の時代に異邦人とユダヤ人に伝わるためにモルモン経の するあらゆる真理をすでにニーファイ人に伝え終った、そしてそれ いない。使徒パウロはこの境地を解明する言葉を、コリント人への いものがたくさんある。またこれらは人間が死ぬべき身を持ってい の言薬の中には、日の栄の国と日の栄の国の最高の境地に属するあ 真意を考えよう。主はこの言葉によって、神の国の最高の境地に属 「わたしはキリストにあるひとりの人を知っている。この人は十 まず第一に、主が「完全なる福音」と言っておいでになることの

ならない言葉を聞いたのを、わたしは知っている」と。ィスに引き上げられ、そして口に言い表わせない、人間が語っては

あったか、からだを離れてであったか神がご存じである――パラダ

である。モルモン経には「不正は決して幸福ではなかった」、 また となどであると教えてあることは、議論するまでもなく当然なこと と、および人はこれらの神聖な真理に無知であったら救われないこ とのできないすべての真理がのっている。 人その他どの国の民も日の栄の最高に昇る備えをするために欠くこ 行う人々が神の国に属する完全な祝福を受けるに必要なすべてのこ るから、主はモルモン経の中に、喜んでモルモン経の教えを聞いて 昇るに必要な救いの諸原則のことを言っているのである。それであ め、罪を赦されるためのバプテスマ、聖霊の賜、神の誠命に従うこ とを啓示なさっている。従って、モルモン経には、異邦人、ユダヤ の中に述べてある「完全なる福音」とは、人が日の栄の国の最高に てある真理が多くあることは明らかである。そこで「教義と聖約」 「何人も罪を悔い改めなかったら救われない」と教えてある。主は モルモン経に、福音の第一原則とは神を信ずる信仰、 不滅の体を得て日の栄の国の最高の位に昇った人々のために備え 罪の悔 い改

(ニーファイ第三書二十七○十九参照)。りてその衣を洗いし者のほかには御父の安息に入り得る者なし」し、すべての罪を悔い改め、終りまで誠をつくし、以てわが血によし、すべての罪を悔い改め、終りまで誠をつくし、以てわが血によるを得ず。信仰を

モルモン経の中には、いまだかってないほどはっきり死者の復活

その弟子たちに向ってきっぱりと次のようにお言いになった。

知らない。神がご存じである。この人が――それがからだのままであったか、わたしは知らない。からだを離れてであったか、それを

ことをふれないようことはう。ようろし、これらの冥里はモレモンの世の人々に知らせるためではない幾つかの冥理があらわれているについて述べてある。「われわれが神と結んだ誓約」の中には、こ

にもそのほかの本にものっていない。
んだ人々だけのものである。この種類のことはモルモン経にも聖書ならない多くのことを教えたもうた。これらのことは神と誓約を結経にのっていない。救い主はその弟子たちに、世の人々に贈してはことを忘れないようにしよう。もちろん、これらの真理はモルモンことを忘れないようにしよう。もちろん、これらの真理はモルモン

マの儀式はイエス・キリストが道を開きたもう まで 行 われなかっもうまで死者のパプテスマはなかった。死者のために行うパプテスないか。もちろん、その答えは「その通り」である。主が復活したないか。もちろん、その答えは「その通り」である。主が復活したないか。もちろん、その答えは「その通り」である。しかし、死者のと、人はなぜその記事がのっていないとたずねる。しかし、死者のと、人はなぜその記事がのっていない

に、死者のバプテスマが必要であった場合にその儀式を執り行うこ何にものっていないからと言って、イエスが 復活 な さってから後た。それであるから、モルモン経の中に死者のバプテスマのことがマの儀式はイエス・キリストが道を開きたもう まで 行われなかっての儀式はイエス・キリストが道を開きたもう まで 行われなかっての

百年の間、すべての者は福音の諸原則を守り行っていたことを忘れそこで、われわれは主がニーファイの民を訪れたもうてから約二っていた者があったからである。

に達した小児はすべてのバプテスマを施こされたと信じてもさしつた。従って、世の人々がおしなべて義しかったこの時代には満八才てはならない。満八才以下の小児にはバプテスマを 施 こ さ なかっ百年の間、すべての者は福音の諸原則を守り行っていたことを忘れるこで、われわれは主がニーファイの民を訪れたもうてから約二

かえない。

主が復活したもうた後のバプテスマは、復活したもう以前のバプテスマと全く同じ儀式であるから、また死者に対して延長したにすぎないから、「教義と聖約」にあらわれた主の言葉は間違ってはいないから、「教義と聖約」にあらわれた主の言葉は間違ってはいないから、「教義と聖約」にあらわれた主の言葉は間違ってはいないから、「教義と聖約」にあらわれた主の言葉は間違ってはいないと結論することができよう。
問わず、アダムから現在に至るまでの死者に対して欠くことのでき問わず、アダムから現在に至るまでの死者に対して欠くことのでき問わず、アダムから現在に至るまでの死者に対して欠くことのできれれれが全力を尽した後、時節が至ると主はアダム以来の義しい死れれれが全力を尽した後、時節が至ると主はアダム以来の義しい死れれれが全力を尽した後、時節が至ると主はアダム以来の義しい死れた。ことを得させたもうと教えられてきた。「福干年」の間にこの偉大者をことごとく教うため、啓示を下して、すべての儀式を執り行うことを得させたもうと教えられてきた。「福干年」の間にこの偉大者をことごとく対する。

なる福音がのっていると言われている。また議論を起すことを好むてかなりの討論をしておられる。われわれはモルモン経の中に完全「さて、わが教会員の中の数名の方が完全なる永遠の福音につい

上次のような言葉を述べられた。

経にはのっていないと言うのを聞いている。それにもかかわらず、ものっていない、そのほか福音に関係のある多くのことがモルモン

人々が、モルモン経の中には死者の救いに必要な儀式のことは何に

**—** 570 **—** 

週期的に議論を起している。このような無益なそして不必要な議論

クラスの一人によって発言されたこの批判は、過去に於て何度も

にもうけりをつけることはできないものか。

前にチャールス・w・ペンローズ第一副管長は教会の総大会の席

要な発表であることに注目されたい。註、この最後のゴシックの部分は当教会の教義としてきわめて重

であり真理の光である」

(千九百二十二年四月総大会の報告、

知恵を与えたもう。

また本来自ら光であり、

英知のみたま

導き

賜」と言っていたが、

聖霊は父なる神の御許からさし出でて広大なる空間を貫き、

今は啓示の中でそう言われている。

われわれは元それを

聖

「完全なる福音」を受けるのである。

施され、

然る後賜として聖霊を授けられるとき、これら

0

人々は

人々が信じて悔い改め、

そして神権の権能によってバプテス

マ

七一二十八頁参照)。

わ こに神すなわち永遠の父なる神、 みになれ を知るにちがいない。 ねる者の贖いとのために為さねばならぬことについてすべてのこと 持ち、その御言葉を聞いて行うなら、 なる神と贖い主なる御子イエス・キリストとを信ずる信仰を本当に る福音」を得るのである。 れている諸々の儀式に従うとき、 る。人々がこの教義を信じて、 ち父なる神、 三方が神会をつくりたもう三人の神々として明示してある。 れてい れわ 「教義と聖約」第七十六章にある三種の光栄に関する啓示をお読 n る。 は はモル では、 言(ロゴス) 「福音」が何と定義されているかおわかりになる。 モン経に「完全なる永遠の福音」が 「完全なる福音」とは何であるか。 すなわち、 および聖霊この御三方はひ とつ 同じ原則を誌してある表の中に言わ あなたがたは次の理由で「完全な 御子イエス・キリスト、 もしもあなたがたが永遠の父 あなたは生ける者の救い のっていると言 あなたがた 聖 神であ すなわ 霊 0

#### ペンフレンド紹介

何ヵ月前私はそちらさまの教会の日本の少年、少女の方と文通したいとお願いしました。

私は私の願いがかなえられる事を希望します。

私は特に年令と趣味を指定します。

私は文通を好む18才ぐらいの少年、少女を特に希望します。

私はたくさんの趣味があります。

その1つは私と同じ趣味をもつどなたかと交通する事です。又、私が訪問したいと望んでいる国、日本を頭の中で旅行する事です。(or 空想する事です)

それから人類学を学ぶ事、ダンスイング(これはフォークダンス、モダンダンス、古典的なものを含みます)、 小説を書く事、泳ぐ事、フットボールをする事、犬を飼食する事、音楽を聞く事、そして又読書もです。以上ですべてです。

私は日本の風習などについてたくさん学ぶ(びたい為)に私との文通が長く続けられる人。又、そうしたいと望んでいます。私の住所は左記のとうりです。

Miss Carol Ann Childers 7 Blright Avenue

Swanbourne Western Australia

## 各地からの大会報告

沖 繩 夏 季 大 会

西 仙 中 央 地 方 部 大 大 숲

台 支 部

無事に終えた沖繩の 季地方部 大会

様といっしょに集り霊的雰囲気あふれる中で ラス伝道部長御夫妻も来島し沖縄地方部の皆 開くことができました。 ら那覇市内の岸本ホールで開催され、アンド 沖縄地方部大会は八月十三日の午前九時か

魄のこもった話の中に悪魔のずる賢い計略に 満ちた話を聞きアンドラス伝道部長さんの気 者ならびに会員が相い集い、兄弟等の確信に 神権会においては那覇普天間両支部の神権

かからないように常に正しい道を守り忠実で

の神権者をうながし振い立たせてくださいま あるようにとのことを強調され、沖縄地方部

別のホールでは同じ時刻にアンドラス

いかに有るべきかという点を会場に出席され した。沖繩でのモルモン婦人としての立場が 姉妹の管理のもとに扶助協会の集いが有りま

ーク市で行なわれた全世界の伝道部長大会で から七月の六日までの十日間ユタ州ソルトレ あふれる話をお聞し、その中に六月二十六日 が有りその後アンドラス伝道部長さんの霊感 ラス姉妹によって会員に対しての誠命の言葉 かにホール内に響きわたりました。 ーラスによって「証しの歌」が斉唱され高ら た姉妹たちに話され那覇支部の姉妹たちのコ

た。一般大会に於ても兄弟姉妹 が そ れ ぞれ て当銘孫吉兄弟の司会のもとに開会されまし に集って讃美歌四番の「来る日曜日」を歌っ 「勉強について」「祈りについて」「知恵の なお一般大会は十時半からひとつのホール

布一郎、当真操等の兄弟姉妹によって話され の話を金城千佳子、宮良毅、山川富子、 言葉について」「十分の一について」「モル モンは社会のあと押しになるべきである」等 川満

強くうち出しておりました。つづいてアンド

わずかながらもモルモン思想を各兄弟姉妹は

についての説明並びに報告が有り午前中のプ かれ、聖餐式の後沖縄においての伝道生活で の模様とその大会で決められた新しいプラン ログラムを終えました。 午後の部では二時から三時半まで証会が開

助協会を育ててくださったメリー・マクナッ に於て伝道してこられ那覇普天間両支部の扶 Gフオーサイス長老、並びに長い間那覇支部 部長を長い間務めてこられたフランセスK・ 最後の大会を迎えた二人の宣教師、

部の兄弟姉妹八名による証詞は各自御霊に満 ことはできませんでしたが、普天間那覇両支 限られていたため多くの方々が証詞を立てる を力強く述べられました。特に今度は時間が 道生活を通しての経験とその中から得た証詞 タン姉妹御二人のお別れの挨拶と沖繩での伝

大会も終りに近づき神権会一般大会と話して され堂々と証詞を述べたところは聞く人が深 い感動を受けずにはおられない一場面でした

後に私たちに対しての忠告と希望を述べられ こられた伝道部長さんが再び壇上に上がり最 今夏季大会を無事終了致しました。今大会は

面で協力した結果前大会より充実した所が見

を起点にして支部長会も大いに奮起するであ きたのは那覇支部の大いなる飛躍で有りこれ 長会にとっても有意義なる大会を持つ事がで てから初めての地方部大会を迎え、那覇支部 那覇支部に沖繩人による支部長会が組織され

え今後の活動に一層の奮起を祈って やまな 覇支部と普天間支部の指導者たちの努力を称 この度の大会を無事終えたことに際し、那

## 有意義に終えた

MIA沖繩地方部大会

ごやかな雰囲気で大会を開会する事ができま した。大会には沖繩地方部の那覇普天間両支 なり年輩の方々の顔もチラホラ見られ終始な ルをにぎわせましたが、前大会に比較してか した。大会が大会ですので若い人たちでホー 大会に先だって十二日午後七時より那覇市内 の岸本三階ホールでMIA大会を開催致しま

部のMIAの方たちが大会にそなえて種々の

だしたり、その外両姉妹玉城豊子姉妹、長嶺則

ダークダックスならずダークガックスが飛び ダーとして四名で編成した男性コ ー ラ ス 団 これに負けてはならじと屋富 祖兄 弟 をリー

**感念が深くなると同時にMIA**の目的を完全 事は沖縄地方部の若い方々のMIAに対する られ、見ていてその努力の跡がうかがわれた について紹介しますと。まず会長当真陸男兄 りたことが伺える。那覇支部のMIAの組織 に理解する事ができMIAの活動にも根がお

副会長に岸本京子姉妹等によりMIAが組織 子姉妹、第一副会長に平良弘子姉妹、 長に森光義兄弟、YWMIA会長に山里富美 同第二

弟の下に第一副会長前田光政兄弟、第二副会

任者においてMIA活動を行い、今大会はM されています。普天間支部では比嘉兄弟を責

果、以前の大会より総体的に前進した事と両 る部門の方々が全力を集中して 仕上げ た結 IA活動の総決算という意味で活動のあらゆ

私たちの沖縄地方部では八月十三日の一般 演技につやを見せたのは大きな飛躍だと思わ 音楽に演劇にと多彩な番組を組合わせてその 支部共タレントが豊富に有ったせいも有り、 編成された「インスタントコ ー ラ ス 団」又 れました。音楽では那覇支部の姉妹方数名で

> 夢の世界に引きずり込まれて行くような見事 木恵一兄弟のピアノによる合奏、聞いていて 子姉妹方の独唱又長嶺顕正兄弟のサックス新

如古両姉妹の元気はつらつとしたダンス、そ な演奏でした。それに舞踊の方では山川、我 の我如古、山川両姉妹の寸芸は面白く誰でも 舞踊を宮城順子姉妹によって、又普天間支部 れと対称的なあの優雅なゆったりとした琉球

なごやかなものにできたのは大成功でしたと ち與ずる事が出来、大会の雰囲気をなお一層 用して胡屋洋子、福本英子両姉妹の指導によ に劇の舞台準備をしているわずかな時間を利 を強調した短いユーモラスな劇でした。それ 理解できるように知恵の言葉について重要性 って大会に参加した全員が楽しく踊盆りにう

ましたが、この劇の弟の正次に宮良毅兄弟母 弟の演出でわずか二週間とちょっとで仕上げ の手紙を」那覇支部MIA会長の当真陸男兄 の最終番組でこの劇は大塚昌治兄弟作「兄へ いえよう。この大会の主題である演劇は大会

良光男兄弟と森光義兄弟これらが主な登場人 便配達夫に屋富祖昭兄弟、二人の宣教師に平 に金城美智子姉妹、妹美智子の友人貴代子さ んに当真紀子姚妹、それに気のいい年輩の郵 のおりッさんに金城干佳子姉妹、妹の美智子

で、この大会にふさわしい内容を持ったもっ 郎さんと正次のユーモラスな会話が有ったり 物であるが、中には知恵の言葉について五三 とも適当な劇であった。 この劇を無事に終えるまでの経過をたどっ

の借り受け交渉、ならびに設置創作に骨折っ **囲気を盛り上げる事ができ、又舞台照明用具** いたイメージがそのまま生かされ劇全体の雰 さった安里勲元兄弟、装飾面では皆の考えて その外舞台装飾面に全面的に責任を持って下 て見ると一番よかった点は当真兄弟を中心と して全員総動員してこの劇に参加したことだ 劇に出演したのはわずか七人でしたが

> が有るものだということをこの大会を通して 誠意事につくせばかならず神の大いなる助け

事がうまく表現できた事は誰に感謝するもの

大塚兄弟がこの劇を通して言わんとしている

でもなく、皆の努力の賜で有り、何事も精神

子両姉妹の方々の全員の協力したかいあって 裳全てを受持って貰った山里富美子、当真洋 浮きたたす事ができました。またその他の衣

西中央地方部夏季大会の手記

た前田光政兄弟、幸地貞子姉妹、これは演劇

大会を閉会した。

めざめ

六月二十四日士曜日の午後である。

下宿のおばさんが注意してくれた。しかし自 ら今度の大会には物質的にも精神的にも出席 間に合わねばやめればいいと思った。最初か 分の行動は何んとなくにぶった。もし汽車に \*先生、はやくしないとおくれますよ、。と

加 藤 武 行 (広島支部)

は準急、ちどり、で行けば三時間と少々で行 今度の大会には出席しえなかったであろう。 の横田高校の教師である。横田から広島まで する広島支部の引寺姉妹の手紙がなかったら の意志はなかったからである。おそらく敬愛 今年の三月広島大学を卒業し、今は島根県 と喜んでくださるにちがいない、といいきか

かすみがかかった緑が続き美しかった。 合うことができた。車中からの景色は梅雨 ける距離にある。幸いその"ちどり、に間に

にも利用する事ができ照明効果をなお一段と のみならずその他のコーラスや独唱舞踊合奏

行くのが自分の生活のすべてであったのだ。 職場ではここ数ヵ月その環境に慣れ順応して のことであった。 であった。聖徒の道を読むのは全く久しぶり 教会のある広島を離れ新しい土地の新しい やがてとりだしたのが、聖徒の道、六月号

美歌の独唱によって幕を閉じ、この有意義な 知る事ができた。最後に長嶺姉妹の力強い讚 行ったのである。 展のためには次第に無意識の内に減少されて る現実問題のためにのみ使われ霊の進歩、 発

すべてのエネルギーは次から次へと直面す

異って日曜日においても休まず努力している 学校に出て一人勉強および仕事をしている自 のだ〟と何かしら誇りをいだいているようで 分に罪悪感よりもむしろ、自分は他の先生と

きるように努力しているのだから神様もきっ 上して生徒たちのため少しでも良い指導がで しばあった。そんな時自分には、日曜日を返 イクにのって付近を廻ってみるとこともしば あった。 また専間の地形調査という名目で学校のバ

最近では安息日において、教材研究のため

避していたのである。 神の掟を破った自分の良心の苛責から逃

ス長老の「安息日はいかにすごすべきか」を しかし、今聖徒の道の予言者の言葉やスミ

たか全く恐縮してしまったのである。 がいかに神に対し大きな罪悪をはたらいてい 読んだ時、自分はハッとわれに帰ったのであ 何んと自分は高慢であったことか。自分

謝の気持から次第に重苦しい義務感に変って 来たような気がする。朝夕の祈りもマンネリ の一は今まで一回もかかしたことはないが感 か五〇ページばかりしか読んでいない。什分 ながら聖典は旧約聖書を三カ月かかってわず ズムにおちこんでしまっている。生彩を欠い 祭司というアロン神権の最高の 職に あり

とも簡単に破ってしまったのである。その結 ながらそれをこちらの軽卒な判断のもとにい のである。支部のある姉妹とかたい約束をし あった。更に加え自分は大きな罪悪を行った はすでに停帯し、更に後退して来ていたので た祈りとなって来ていたのである。霊的進歩

> に変って来たのである。 感に責められ、神に対し恐れおののきの気持 ら伝わる霊感を悟った時自分は強く深い罪悪 <del>全再び聖徒の道を手にし、その霊的書物か</del>

\*人生とはなんぞや、という一つの哲学的思考 にも何一つ困る事はなかった。ただ 自 以上も続いた。当時自分は精神的にも物質的 一分は

たはずである。そのため求道者生活が一年半

白分が築き上げた信仰は確かに慎重であっ

ン教会が神の真の機会である点については自 教が全く正しいと充分自信があった。モル たものであった。従って理論的にはモルモン ったのはいわば自分の論理的発展から到達し に無教会主義から現在のモルモンに変って行 に興味を持っていた。無神論から有神論に更 E

彼女はもとより彼女の両親にまで非常に のではなかったのである。 れさるとか、あるいは他に変る様な性質のも ってつみあげられた自分の信仰は容易にくず にもみあたらなかったからである。 モン教会がまちがっているという根拠はどこ この様に慎重に理論的に二年間近くもかか

分も卒直に認める事が出来たのである。モル

離したものになった事である。例えばあの霊 だけ確立されたものであったため現実から遊 しかし、自分の信仰には大きな欠陥があっ それはあまり理論的で抽象的で頭の中で

に誓ったのである。

るほど愚劣、

卑法なまねはなかったはずであ

る。モルモンとして、神権者として誓約を破 大きな精神的打撃をあたえてしまったのであ

つ

であるかを述べる程度であった。 を述べモルモン教の教義がいかに妥当なもの 多いのに自分の証詞は全く冷静でその熱を欠 激の涙を流し言葉も口に出ないほどの証詞が 的な証詞会の時など多くの兄弟姉妹たちは感 いていた。いろいろの書物を出し、その内容

そもそも現実を遊離した信仰などはありえ

自分の知識がこのように神を冒瀆するとは全 慢さが自分をそのようにさせた かも リである、このプライド、この自惚、この高 されたのである。自分は、大学を出たインテ 度教会を離れた現在あまりにもはっきり暴露 ないものである。この自分の信仰の弱点が今 い。神の御前では全くもってとるにたらない 知れな

気持になって来たのである。そして心から悔 出席する機会がなかったら依然と自分は悔改 とを深く反省していた。"もし今度の大会に くれ、あたりは薄暗くなっていた。 ここではじめて神様に対し心から感謝したい 分の弱点に気づかなかったであろう。自分は めの時期をのばしていたであろう。依然と自 道、は膝の上にふせ教会に通っていた時と今 い改め、今度は心から神様につかえようと心 汽車が三次をすぎるともう日は山 かげにか く皮肉というよりほかにない。

、早く大会に行きたい。そして久しぶりの

兄弟姉妹、宣教師たちに一刻も 早く 会いた い、急に心に喜びがよみがえったのである。 七時ちようど懐しい広島についた。すぐ市

電で会場の広島平和記念館に行き、MIAの 大会に出席することが出来た。 、懐かしい兄弟姉妹、そして長老たち、一

接しあえる喜びを心ゆくまであじあうことが き、モルモンはいつ会っても同じ心を持って らなかったが引寺姉妹、西原姉妹、小谷兄弟 うに感じられ、<br />
本当に来て良かったと思った。 できたのである。 バルカセ長老らと心ゆくまで 話 すことがで 人一人握手して挨拶する時、本当の兄弟のよ アンドラス伝道部長は都合により出席にな

出口兄弟、そしてシミズ長老から有意義な話 西原兄弟御一家の御好意で朝食のカレーライ と決意をあらたにしたのである。 を聞き、 たのである。九時神権会に出席し藤田兄弟 ルモン家庭のすばらしさをつくづく悟らされ たまるもてなしに心から感謝すると同時にモ スを御馳走になった。モルモン家族の心あた し、強く横田のモルモンとして生きて行こう 翌二十五日は教会で泊った兄弟たち全員、 自分は再び神権者として新たに自覚

> 強く生きて行きましょう〟と笑顔で自分の罪 とは水に流してこれからイエスの愛を持って

る機会があたえられた時、彼女は、過去のこ

かわからないほどであった。 くく愚劣に思われ、どう言って謝罪してよい の愛の美しさに自分のとった手段が益々みに を許してくださった。モルモンとしての彼女

きなかった。 ランチィーチングレッスン七月用、決心と悔 車中再び聖徒の道を開いた。アロン神権ブ

汽車の都合で一般大会を証詞会には出席で

すべてを今一度悔改め新に決心したのである 改め、であった。自分はここで深く今までの 、ようし、これからやるぞ。

がしくても必ず家に残って聖典を 読み とお の勉強もどんどんやる。安息日はどんなに忙 行のともなう信仰を持たねばならない。 て忘れてこれから出なおすのだ。これから実 今までは確かにはるかったもの、過去はすべ 教義

> ることはできない。しかしそれの根本である 務がある。モルモンの教義を直接彼らに教え は多くの生徒を本多に正しく導びく重大な義 す。そしてその教えを実行する。学校の教師

神が我々を心から愛してくださったアガペー 愛の実践は彼らの上になされねばならない。

く証詞せねばならない。自分は偉大なモルモ 大さを、言葉でなくその実践態度において強 愛して行かねばならぬ。モルモンの尊さを偉 的な愛と同じように自分もそのように彼らを

にまた彼女えの罪悪に対しせめてものつぐな かねばならない。これが今までの神えの冒瀆 いである。横田に帰えればもっと強い意志を

ンの伝道者として山間の横田で強く生きてい

空も晴れて来たようである。もうすぐ横田で きっと神様の御導きがあるにちがいない。 持って努力しなければならない。そうすれ 汽車は快適に横田をめざして走っている。

## 仙台支部大会か 5

ある。

会にて

神

権

高 橋 (仙台支部) 朥 俊

神権会の後、

自分は彼女と二人で話し合え

#### 61 年 7 月 30 日

をお話したいと思います。 信仰と救いについて私の理解していること

きく、その道は広い。そしてそこからはいっ 「狭い門からはいれ。滅びにいたる門は大

- 576 -

章三十三節にも「永遠の生命に行く道は細く われていることで、ニーファイ第三書二十七 い。」これはマタイ伝七章十三節~十四節に云 道は細い。そして、それを見出す者が少な て行く者が多い。命にいたる門は狭く、その 節の引用で、主の御心を喜んでなす時に、主 なり。これはマタイ伝十一章二十八節~三十 ん。わがくびきは易く、わが荷はかろければ を負いて我に学べ、さらば霊魂 に 休 息を得 ん。我は柔和にして心卑ければ、我がくびき のくびきは易く、その荷は軽くなり、苦しさ

に至る道は広くその門も広し。而して誰も働 その門は狭くしてこれを見出す者は少い。死 は消え去り、悩みは安らぎ、疲れはいやされ

云われている。救いの道は私たちにとって最 入ることもできないと、はっきり神は我々に 通らずには、決して救われない、神の王国に る道は狭くけわしい。その狭くけわしい道を 狭き門より入れ。ここのように神の王国に通ず まで、この死に至る道を旅する者多し。 くこと能わざる夜のごとき暗やみの境涯来る 汝ら く教会を遠ざかる人のあることも考えねばな きは難しく、その荷が大変重くなり、たえ難 律法を、主の御心を喜んでなそうとする時ば 完全でまた、弱いものですから、何時も主の ます。融和と甘美の内に。しかし私たちは不 かりあるとは言いません。すなわち主のくび

りも最も大きな試練を受けていることを自覚 末日聖徒イエス・キリスト教会の会員は誰よ 道を通ったのでは決して救われない。私たち も大きな試練であり、その試練をさけ安易な 然起るべきものであります。だから救いの道 らず。またここに集う私たちにもこの事は当 とを防ぐやう努力しなければならない。 は狭くけわしい、こえず目を覚し怠情なるこ 善を行わんと欲し、誠に終りまで忠実であ

しなけければならない。 忠 実 に な ればなる

るとき、始めて神の王国に救われるのであっ

思い起し勇気を出さなければならないと思い き、悩むとき、疲れたとき、これらのことを 程、その試練も大きなものを受けねばならな ます。けれども神はすべて労する昔、重荷を いことを自覚しなければならない。苦しむと ŋ に入ることを望んでおりますが、希望しただ 教会員は誰しも最も大きい賜である神の王国 はこの大会のテーマでありますが、私たち、 て、これは神の賜のうち最大なる もので あ およそ、敷いの賜に勝る賜はない。これ

負う者、

われに来たれ、

われ汝らを休ませ

けでは入れない。しかし私たちから希望を取

でしょうか。

り除いたら、私たちは生きる望みも失なって ことではなく一般的なものでありますが、神 しばあります。これは教会の中だけに限った り、実行が伴わない状態に陥入ることがしば りますが、ともすれば希望だけが大きくな しまうほどに希望と云う心は大切なものであ

切であります。また祈りも大切であります。 れが要求されております。それには信仰も大 なものでなくてはならず、一日一日の内にそ であるから、それに伴う実行もすぐれて立派 の王国に入ろうとする希望は最も大きなもの

になりつつあるか、またはなっているかが問 身または貴方自身、いますぐれて立派な人間

道を神は身をもって示しておられます。私自 す。それにはまず私たち一人一人が肉体を持 題です。よく我が身に問い反省すべきことだ なことであります。すぐれて立派な人になる って生を受けたことの最も大きな理由は何ん の信仰について、深く考えて見たいと思いま では私はここで本当の救いについ

と思います。

自身、すぐれて立派な人になる事が最も大切

また勉強も大切でありますが、私自身、貴方

聖典の研究、教義の理解も大切であります。

良い世界を造るためでしょうか。 子孫を繁栄するためでしょうか。

当の信仰について考えて見たいのです。

そうでないかが決ります。また、祝福される り、もっと強い信仰を得ることができるか、

か、されないかが決ります。

私たちは聖書を読みます。

モルモン経を読

のような信仰についてお話したいのです。本

のです。そしてその試練に如何に耐え得る か。それは試練を受けるために生まれて来た は生を受けた最も大きな意義は何んでしょう れて来たのではないと申し上げます。それで 私はここではつきりと、これらのために生ま 平和と幸福を求めるためでしょうか。

か、またはその試練と如何に取り組むかによ って、その人の救いから否かが定まるもので ではその救いの根底になるものは何でしょ

ら身を守ろうとします。それは私たちに信仰

とは神の掟であります。

ない。でも教会へ来て安息日を聖日とするこ

の理由で、その人の信仰をおし計ってはなら い。たとえば、教会へ来ないからというだけ

しょうとします。不快なことや汚れたことか

酒や煙草やお茶を避けます。隣人と仲良く

があるからです。

それは私たちに信仰があるからです。

勉強しょうとします。また、日曜日には教会

ものですから、日平生活の上から表面的に、

また、人の心は単一なものでなく、

その人の信仰を判断しきめつけて はならな

み教義と聖約を読みます。神の教義について

へ行きます。日常生活の上で神に祈ります。

うか。それは神を信ずる信仰であります。信

仰について、或る人は簡単であると言い、或

信仰も生長します。日曜日になれば教会に行 き参加し、日常生活、すなわち月曜日から土

そして、これらの積み重ねによって、その

詰められた時、または災害や不幸に見舞われ

けれども、その人がぎりぎりの線まで追い

た時、その人の最も尊い信仰の度合がためさ

**—** 578 **→** 

送り準備せねばなりません。本当の信仰こそ 尊い信仰を持っために日常生活の一日一日を す。そしてこのような最後の一線に残り得る この信仰こそ本当に大切な真の信仰でありま れます。砂金のやうに底光りを与えながら、

信仰も強くなります。日曜毎に教会へ出席で に大切なことであります。それが基礎になり 曜日までの生活も忠実な日を送ることは大変

行いの伴った本当の信仰を身につけねばなり 救いにあづかる唯一のものです。掟に忠実な

らです。これ等のことを全て御子イエス・キ リストの御名を通して申し上げました。アー ません。それは救いに至る唯一の道であるか (日曜学校Cコース教師

その結果によって義とされたように、私はこ ブラハムの信仰がためされたように。そして それは、ヨブが信仰をためされたように。ア か、立派なものであるかがはっきりします。

で力強いものであり、 試みられることに依

本当に信仰が試みられるのは、

もっと劇的

されております。これは大切なことでありま りは聞きとどけて下さると主は私たちに約束 ようになる事ができますようにと。正しい祈 祈りを捧げて下さい。日曜毎に教会へ行ける きない会員がありましたならば、どうか主に

時に私たちの信仰がどれ程、

強いものである

についても試され試練を与えられます。この

のかについて、神は私たちの持っている信仰 信仰がどれ程、強いものか。どれ程、深いも に於ける信仰ではなく、私たちの持っている ここで言いたい信仰は平隠無事に過ぎる日常 る人は難かしいものであると言います。私が



7月22日

**拓者をしのび、私たちの決意を新たにすることが出来まし** 荒野の危険な道を進んでいった私たちの心から尊敬する開 て」という題でお話があり多くの苦難とたゝがい主の道と ながらフォークダンスをしました。最後に「開拓者につい を楽しんだように私たちもゲームや歌の輪唱。皆でうたい なることが出来ました。開拓者が心からレクリェーション 始められ終りまで主の御守りの内に楽しい有意義な集いと

を訪れたいと思います。

た。来年は支部や又会員一人一人も一そう進歩してこの地

大野の浜で今年も七月二十二日金沢支部の

"開拓者記念の

なつかしい

が開かれました。

「恐るな聖徒よ」の開会の歌から

バスで降りると急に強い潮風が感じられる、

#### 11117"

日 本 0) 基礎民族 は希伯来選 民 の 正 裔 な

ŋ

(三)

11

谷

部

全

郞

と、 我 国 神 で神 は 雲 は 0) 雲 上に の 上に まし ましますといふ思 ますとする由 米 想は古く か ら あ ń 神

画

15

か

<

時

も必ず下に雲を描き添えるの

を常

۲

Ļ

ま

た

昔

宮

延

15 体

照大 尊で と 典 語 任 は А 重雲 神 ŋ 15 希 は濃 載 伯 神 伊弉再尊二柱の神、天の霧いぎなみのみこと た 給 天上に つ 来 を 公 V > て、 7 人 き V > 郷 雲 ŧ つ E る。 神 在 0 0 わ 雲の上び 千別に して 中 ħ は 濃 15 は 歷代志略下六章 居 濃 ٧× 千别 き雲 う 雲 云 とな 0 Þ h ۲ の 中 7 ۲ どと称した。 言 中 天 に在すと信じた。 あ る。 降り 15 の中に立 ۷, 居 た \_\_ 節 大祓 ま 6 よさし ic W U がたて 詞 たして」云 l と宣べ 奉り が 15 神代巻の 「天の 是れ ソ 給 ŧ 我 は 口 V > 磐座 たる 云 神 モ は 々とあ \_\_ 神 書 ン Q 0 を放 王 15 た 15 モ ۲ 言 依 ŋ め あ 1 伊弉諾 る。 文 る ち 15 V٦ セ 住 け ۲ 天 天 経 む 10

内 節

庭 1=

10 そ

7

ŋ

玆

に神栄光ケルビムの上より昇りて宮の関に

ケルビムは宮の右に立をり、

雲 章

7 十

た

る。

盈み

0

人神の宮に入る時、

き宮、

即

ち永

久に居るべき所

を建てた

'n

云

**₹** 

又

同

書

£

Ξ

**—** 580 **—** 



3 ٢ 前

Y

神

۲ 0

0)

伝 仰 0)

設

0)

起

因 驚 云

ŧ < Q

察

せ

b

ħ

る

の

で

あ

る。

10

る

V >

を

と 。

こ の

ıc

雲

べ

b

そ ż

> 7 来

民 دزر

族

信

は `

実 **₹** \_\_

10

べ

きもの

で、 よう

之に

よっ と神

て古 と離

来 る

我

国 か

10

存 ゞ`

0) 昼 朝 ん て、 止 尾 0 15 九 又 に 予 至 神 ま 同 だ ま 如 宮 で の 言 幕 章 力 離 < 礼 十 は、 る 10 止 屋 で 所 ば 者 あ 10 ナ れ 15 五 は は れ、 ま 0) 又 15 て 幕 節 雲 1 あ ン ή や ザ 営 上 て、 滿 上 る。 0) 屋 ---雲 神 10 ち ŧ ヤ 15 故 を る 0) 張 昼 雲 が の 朝 雲 地 時 上 神 0 昇 命 は に の に 埃 15 0) 15 礼 は そ 雲 0) 及 る 及 15 達 火 幕 の 止 ŋ ŋ に 時 び す [\_\_ 1 2 0) 屋 ŧ 依 庭 n 埃 関 は て ŋ 云 ス を 15 ħ るまで、 如 を蔽 及 す 即 そ **4** 0 ラ き 建 る て は 来 る ち 0) 間 ŧ 7 神 途 工 U. 予 1= 途 雲 は 15 希 ル た 0) の ŋ 昇 現 る 言 15 営 神 伯 0) 栄 進 夜 た を 進 る を み、 在 来 子 わ 日 光 まう。 時 張 孫等 は め ます ħ に、 1 輝き盈てり」 人 ザ ŋ は ŋ ま は 火 7 to Ц. 直 雲 途 居 た Z 0) 朝 \_\_ 時 15 10 埃 書 云 15 神 信 始 は n η<sub>o</sub> きも 及 十 Ų 進 ず 移 途 及 幕 0) 任 屋 0) 九 と る 10 べ め 命 諸 章 あ 7 雲 せ 進 0)  $\eta_{\circ}$ を 云 ŧ 15 る。 蔽 0) た 依 15 る み、 あ 々 。 節 ŋ 偶 夜 雲、 ŋ 導 埃 即 ż . \* • ic 又 7 及 ŧ ち ŋ :::: 民 像 15 か 常 希 営 た 数 タ を は 伝 ŧ n

ŋ 張

を

出 雲 雲

7

進 で 0) 幕 此 g 紀

略

15

伯

あ ょ

n

事記神 祭司 神 代 職 卷 は 15 頭 髮 速 を 須 剃 佐 ら 之 ぬ 事

八つが

ŋ

刑

風

手足 鬚げ 全 古 及 歴 罰 頭 た 向 L U 胸なな 国 部 代 たこ か ۲ Z *د* يا 6 国 吉 前 15 0) の を 布 存 学 剃 天 都 7 爪 ۲ lΞ わ 者等 す 皇 を が 至 か 7 n 鬚 を る れ 7 は 大 を 抜 窺 る る 不 は 古 和 ŧ ま 切 12 か わ で ま 文 依 制 の た る つ l 礼 で 律 然 鬚 15 橿 た め る。 C 10 旧 戦 依 原 ٢ 7 云 を 神遂かんやら 制 態 剃 同 0) 玉 7 IC Z Q 定 書に 風 時 が せ を持してこの る あ 習 Ġ 風 代 窺 *ל*א U V > ۲ /男命所 ŋ 習 に ず 天 わ 遂ら 叉 は ħ 皇 持 7 で 入 n れ U 「千位置戸を名がくられまと みて上代鬚さ *ŧ* ∟ あ つ ŧ 0 る。 続 V > 命もし て 位 ž た 竜 つ れ 為 風 た 士 顏 を 神武 ۲, IC た ۲ が 人 15 正 給 之に 思 染 える の は 剃 l 天 鬚を蓄えることを美 ح 負せ、 で ま 刀 7 皇 わ れ 以 あ な 般 を 日 依 国 0) る か 間 lΞ 当 来二千六百有余 向 ŋ を 月代さかやき 維 つ 10 7 を 7 また 知 新 給 発 Ġ たことは、 あ \_\_ 鬚 後 つ ۲ 種 さずて わ **?** 断 称 た て、 0) な 髮 重 切

で 鬚

あ

る

記

二十 とを 鬚

章

四

 $\neg$ 

祭司 b

は

の

民

の

長

者 0)

n

ば た

を汚が

次を剃

落

すこ

律 美

法 l

15 <

て禁止

l び

モ 及

1

セ

著

l

五 剃

の 或

伯

来

人

ŧ

0)

長

V >

0)

を尊

王

族

び

祭司

は

髮

を

l

け 利

かぎ 未

n

た

る

者

۲

な

る 節 依

~" ŀ つ

か

ず

彼 そ た。

6

は髪を剃

ŋ な

7

頭

に

毛 身 書 ŋ

な

Ŧ

o

— 582 —

か

東 き.

车 つ

神

上 主 7

令

つ 裡 斉 み、 大 7 総 が 年 所 九 l た Z 任 つ 服 ۲, を 臣 伊 た 民 習 を べ EJ 前、 た ぜ ζ 仮 7 本 モ を 出 以 勢 族 Ġ 如 白 慣 つ 殿 著 御 下 < 大 純 0) 色 我 は 祭 か < Z 1 れ 皇室 神 H を 皆 白 共 て Ġ ょ は る が セ ŋ ず < 神 宫 を 貴 た 奏すること三 10 神 0 冠 祭 0) ~ 拝 大 還 貴 及 木 武 死 律 司 か Q .i. を 宮 び せ 本 L 幸 云 Ġ UÑ 洲 天 は 15 V > 0) Ġ 殿 司 々と。 ず、 V > 0) 国 皇 制 長 lΞ た 家 れ 10 以 純 厳 即 紀 そ 入 せ だ Y 元前 渡 下 儀 0 ₹ • た 白 0) つ 位 ら な そ 声 祭祀 御 12 服 を 7 紀 れ 叉 0) の n ıc 拝 古 奉 斉 装 来 鬚 せ 元 神 る 同 た 語 b 戴 して御樋代 を享 前 結果 観 ŧ た 職 者 0 服 章 こと 拾 n せ l 純 と は、 十 両 で修 凹 及 遺 る Ġ け 傍れ 節 た 白 九 五 で び 光暑 る伊 を損す 0) ħ が は \_\_\_ \_ i な あ 士 そ 祓 年で、 記 て 想 年 人 一灌膏を ŧ る の を受けて 事に、 勢神 は 白 は 祭主久 0) 像 Ó が 頭 ۲ 絹 純 を常 ż 頃 推 鳥 を べ 宫 深 0) 白 で か れ 今を去る約三、 察 帽 あ 行障、 邇 白 夜 0) の るこ Z あ ż 子 6 6 首 仮 馬 な 絹 宮、 L ず、 如 る l: n を わ 殿 る。 る 15 7 き大 とで か す 冠 そ 御 覆 白 ŧ 白 敕 ら、 べ V > つ 叉 × 社 猪 絹 は 階 使 る て か そ 白 あ 利 が 雲 10 0) れ、 0) た 3 そ 未 i, の 頭 れ 前 0) 0) 絹 る 於 身 白 私 記 す 四 を 天 内 7 慣 鶴 垣 白 は 六 被 職 15 を 15 降 0 0) 進 務 曾 に 例 著 云 傷 つ 15

う Ġ 献 め か。 ħ たこ じて年神を祀つたことがあり、 たこ ۷ が ح は あ る 瞭 事 か で などによつても我 あ 30 而 ŧ 之は畢 また 国 には 竞 白 何 雉を献じて年号を白 古え 15 起 因 か 5 し て 白 *د* ۷ る 色 の の 重 雉 で あ h ۲ ろ ぜ 改

守し

た。 伯

猶

太

経

典

旧

約

の

伝

道

の書九章八節に

一汝

0)

衣

服

を常 制

10 厳

希

来

0)

王族

及び祭司は

白色を貴び、

世々に伝

へて、

その

を

等 Z \_ 云 0) て 記 を 0 白 着 \.\tag{2} Ò 大 十 東に立 0) 国 か 神 H と 班( 司 都 子等と兄弟 Ġ 居 節 列及 等 ま 宮 エ た斉 還 たり てり、 10 に ル め は 記 依 聖 サ 幸 ょ b 所  $\nu$ 厳 L 主 また ムで 云 7 が Z, ず 儀 汝 より セ な l 白 0) 0) ダ 一き祭服 と 祭司百二十 白 て 行つた記事を歴代志略下五章に 如 頭 出 あ ピ き 職 で き神事を三千余年前 に膏ま る。 デ 細 務 た η̈́o 'を絶 は を着 布 をな ح 0) 細 0) たる えし 布 人彼等と共にあ 服 せ 此 ŋ を纏と よう 0) 所 事 1= 衣 むるな ひ鏡鉢 10 ic をまとえ あ またレ 神 就 ŋ 祭に <u>.</u> し祭 o) か としたしたしたした。ビ人 ソ ħ ŋ, 歴代 ŋ 司 白 口 の記が て喇 と琴と V > は モ と記 志略 載 服 Z, ŧ ン 装を た 叭 とを操 せて 王時 歌 な身を l 白 上、 を吹け て دکہ 代 L ŧ 者 ۷, あ る。 る。 十 清 10 た 工 ŋ 及 η o 事 ボ 五 て 猶 び め、 実 章 壇だ 被 斯 デ 太 前

が

見ら

ħ

る。

また神

と崇

めた

キリ

ス

トの

斉

服

Ö

白

か

つ

たことを

7

裡 斉 Z 大 て 総 九 が 年 L た Z 任 つ 所 つ ĸ, 服 臣 民 前、 た 習 を た を 伊 べ E ぜ < 7 モ b 仮 勢 本 族 慣 を 出 シス 白 如 我 祭 < 殿 著 御 下 純 0 大 ۲ 1 は n か < 貴 H を 皆 神 白 皇 共 かぎ 7 る セ は b ょ 宮 を 室 貴 10 神 冠 祭 < ŋ た 奏 神 0 0) べ 貴 司 拝 大 す 還 及 "دُر. 木 武 死 律 を か U 宮 幸 び 天 云 Ġ 本 ること び 0) 洲 は 10 V٦ せ ず、 国 皇 長 殿 司 の 制 た Ų 15 6 V > 厳 Z 家 即 紀 Z ک 0 礼 15 ジス 純  $\lambda$ せ だ た。 三声 下 0 位 元 <u>\*</u> な そ 渡 儀 0) つ ら 白 ħ 祭 紀 前 御 10 を 服 7 叉 0) の 札 ic 祀 鬚 奉 斉 拝 装 来 元 神 る 同 古 せ た 戴 して を享 前 職 者 章十 0 語 b 観 ŧ た 結 服 2 は、 拾 純 果 及 両 れ せ l セ 띧 で 御ん け 節 傍き ۲ 九 五. で 遺 る Ġ 修 た 白 び が 光 樋ひ る は そ に を な \_\_\_ あ の れ 士 祓 代は 伊 想 年 年 一灌膏を 損 る 記 暑 て ŧ 人 0) を受け 勢神 で、 事 祭主 の 像 0) Z かぎ 頭 す は は 白 推 ~: に 絹 純 を ż 頃 鳥 を 久 常 宮 深 白 で 今 察 か 0) れ 帽 あ 7 行障、 邇 を 子 Ġ 首 b 夜 0 Ł 0) る あ ż 白 仮 宮、 l る 去る ず 馬 絹 如 15 な 礼 を わ 殿 る。 る 7 き か 冠 す そ 10 Z 御 覆 で 約 ŧ 敕 大 6 つ べ × 叉 白 白 V > Ξ そ 猪 使 る 社 利 7 か が 白 絹 は 階 あ 15 そ Ŀ 雲 礼 未 頭 れ 0) 0) 0) た る ず 身 前 於 0) を 絹 私 四 記 白 0) る 慣 六 被 職 天 内 は 7 を 15 鶴 垣 白 に 云 進 務 曾 に 例 著 傷 0)

献 た 礼 じて年神を祀つたことが たこ ことが ح あ は 瞭 る か 事などによつても我 で あ る。 あり、 而 も之は また 畢竟 国 10 白 何 は 雉を献じて年号を白雉 古え に 起 因 か 5 l て *د* ي 白 色 る の Ø 重 で h ۲ ぁ ぜ 改 3

守し 等 j \_ 云 0) そ 7 記 0) 白 ら め 十 東 Ó 0) 国 大神 か。 か 希 Ł ic 司 伯 子 班く 都 Ġ た。 立て 等 宮還 節 ŧ 列み 等 工 来の王族 ル に た 15 は 猶 と兄弟みな め ŋ 斉 聖所 サ 幸厳 記 依 太 ょ v L 主 Ġ 経 7 が ず ŧ ょ ムで行つた記事を歴代志略下五章に載 儀 汝 典 及び祭司は l ŋ 0 の 白 た祭司百二十人彼等と共にあり 田田 グビ き祭服 白 頭 7 出 如 き 職 で き神 に膏を 約) デ 務 た 細  $\eta_{\circ}$ は を着たる 布 を 事を三千余年前 0) 白色を貴び、 な 絶 伝 0) 細 服 えし 布 せ 此 道 ŋ, を纏と 0 所 の書九章八節 事に 衣 10 むる ひ鏡鉢 を またレ あ 世 就 ŋ な まとえ **₹** l 0) か 々に伝へて、 かと瑟と琴いど人の謳れ 祭 ソ れ ŋ. 歴代 司 口 10 . 「汝の て喇叭を吹け は モ と記 志略 謳き み ま ン とを操 た 歌 Ŧ な せ L 身を その 上、 て 時 7 衣 白 دۇر ŧ 者 ۲. 代 あ 服 清 る つ ıc 十 ŋ 及 を 制 工 η \_ 常 ボ 五 7 U 猶 を め

が を

見ら 着

ħ 居

30 たり

また神

と崇

め

たキリ

ス よう

ኑ

斉

服 祭に

の

白

か

つ 服

たことをマ

け

云

Q

ح

あ

30

ح

0)

に神 0)

白

ζ.,

装

をし

た

実

章 デ

太

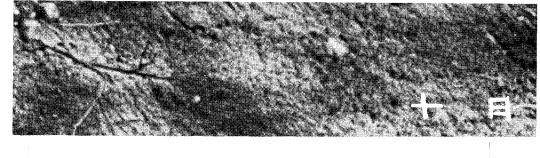
10 厳

斯

彼

章に 乗 Ġ 座 を置 輝 た 0) 白 宝位に坐するを見たり」云々、又三章に「勝を得る者は斯のご 1 白 机 見しに、 まえと御使の前とにてその名を言いあらわさん」と、又六章に き衣を着せられん、 あり、二十 し」云々、 伝十七章に「彼等の前にて、その容貌かはり、 純 き列 白 「汝等神を頌美よ白き驢馬に れるが、 を貴ぶ彼 勝ちて復 その衣は白く光 ڏڏر 視よ白き馬あり、 るありて、長老座を占めたりしが、 昔 四人の長老は白き衣をき、 ヨハネ黙示録 貴人 我 勝 の風俗にしてこの如く相一致することは果して偶 た んとて出でゆけり」と、 は白い馬又 我その名を生命の書より消し落さず、我が父 れり」云々、 次四章 に 之に乗るもの弓を持ちかつ冠晃を与へかない は 乗る 「その 白い驢馬に乗つたことが ダニエル書の七章に もの毛氈 首に金の冠を戴きて、 宝座の 我国でも天皇は白馬に その衣 四 に坐す 囲 その顔は日の に二 るものし は 雪の 遂に 十 士帰 四 如 そ 0) 云々 記五 すま くに 宝座 とく 如 宝 < 0

然と云ひ得るであろうか。



# 北海道地方のジュニアーのクラス紹介

### 札幌支部

『古代アメリカの生活』出席者十五○日曜学校(Bコース)

名前後。

このクラスにおいて私たち若人は

相互に広い視野にわたってモルモン相互に広い視野にわたってモルモンのMIA エンサイン―ローレル『福音の実践』出席者三十名前後『汝心を昼し精神を愛すべし』『これは主なる汝の神を愛すべし』『これは主なる汝の神を愛すべし』『これは主なる汝の神を愛すべし』『これは主なる汝の神を愛すべし』『これは主なる汝の神を愛すべし』『これは

○フォークダンスは最も盛んな活動のフォークダンスは最も盛んな活動

クレレ

○『一般活動』フォークダンス、ウ

### 心川支部

今まで学んできました。 であった。日曜学校で私たちは「イ ガリラヤでの宣教といやし等に就て られた事、十二使徒、山上の垂訓 エスの少年時代、荒野で悪魔に試み じ開拓者たちを想うにふさわしい夜 た兄弟のお話、ゲームやダンスに興 モルモンの開拓者たちの歩ん だ生 的な魅力に満ちたコーラスの発表等 部長をはじめとする長老たちの男性 は、 エス・キリストの生涯」を用いてイ のうちに終え、開拓者の夕べでは、 歌、コーラス、劇、舞踊また、 話に引き続いて兄弟姉妹 たちの詩 の夕べについて 話そう。支部大会 MIAの活動から支部大会と開拓者 ックアップして紹介しよう。先月の 私たちの支部に於ける各集会をピ 歴史的な足跡をユーモアを交え マロー地方部長の強い証しとお

森永 保(十七才)

達にこの福音を紹介しようと思いま

石井

(十八才)

っている私たちはもっと多くのお友

### 室蘭支

代の人々が多い様です。今福音を知 位です。最近の求道者はめだって十 ふくめ全出席者のも位、少い時でも す。出席の状態はMIAで求道者も のあるものとするためによい機会で 成長の途中にある人々にとって進歩 が大小にかかわらず責任を持つのは に於いては書記等です。十代の人々 日曜学校に於いて書記図書係MIA 於いて書記、 態についてですが、子供日曜学校に す。それがはっきりとわかるのはM す。特に十代の人々が多く集まりま ばしい事です。責任を持っている状 ですが室巓支部にとっては非常に喜 から当然といってしまえばそれまで な若い人々のための大切な集会です IAです。MIAはもちろんその様 の集会に出席する人が ふえて いま 私たちの支部にこの頃非常に色 証しを強め信仰をより深く厚み 教師、 指揮者、補助、



### 私の証詞

城村佳江 (小樽支部)

モルモンを知り真の幸福を求めた私は幸福者です。この尊い幸福 は求めなくては得る事の出来ない幸福です。この幸福を得るため私 はどんなになやみ苦しんだ事でし はどんなになやみ苦しんだ事でし よう。私は短い時間に神様から祝 福をいただき心の中は喜びに満た されています。私たちが真心から へりくだり祈る時これ等の事は成 就されるという事を心から証詞す る事が出来ます。祈りは私たちに なぐさめと喜びを与えてくれます 私はモルモンの求道者であること

御子イエス・キリスト様の御名を通して致し幼な子になりたいと強く思います。すべてをない」(マタイ伝十七〇二四)。この聖句を思う度に私は胸が刺される思いさい」(マタイ伝十七〇二四)。

ていらっしやることを証詞します。

様は常に私たちを正しい道に導こうとなさっうために十字架にかけられたこと、天のお父エス・キリストがまことに私たちすべてを救

祈り努力して居ります(十七才)消えることがないようにと神様に詞が永遠に消える事なく益々輝き

ました。アーメン。(十七才)

弱い灯のようなものですがこの証詞は今小さく、ともったばかりでを誇りに思っており、また私の証

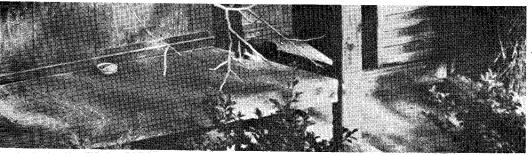
### 私の証詞

記記

山 崎 佳 子 (和幌文部)

山 崎 佳 子 (和幌文部)

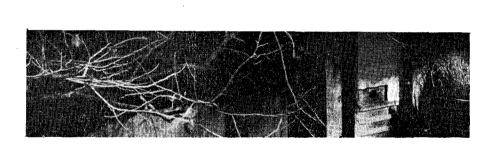
山 崎 佳 子 (和幌文部)



### 私の証詞

中村幸子(室蘭支部)

すべては、イエス・キリストの御名を通して 神様は、努力したい、進歩したい、そして誠 年の二月二十六日に受ける事ができました。 者生活も神様の恵みによってバプテスマを今 力がある事を心から証詞する事が出来ます。 命を守りたいと思っている人にいつも神様の 助けを感ずる様になりました。長い間の求道 努力しました。段々と書記の役も慣れ神様の 配でした。でも毎週教会のその責任を果す様 い私にこの様な事が出来るのか私にとって心 学校の書記の役でした。モルモンの会員でな しいことがおこったのです。それは子供日曜 終り頃からでした。その時私にとてもすばら ルモンのことを考え初めたのは小学校六年の 変って来たからです。そして私が本格的にモ と思っています。何故なら私自身が少しづつ ると友だちにさそわれるままに来て良かった 通の家で集会を開いていたからです。今考え た。いま考えますと一番びっくりしたのは普 私が教会に来たのは小学校 四 年 の 時でし



### 喜びと希望

野田由里(金沢支部)

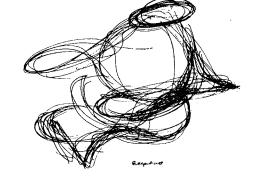
学ぶ。十七才以下のクラスである。外見人数 まず少しでも神の奥義を学ぼ うとい う事で ともゆるがぬすばらしい信仰を得るために、 し方に、一層確信を強め神への讃美に満ちる 毎に一層新たな喜びを感じる。何度聞いた事 を受けて五年余りになるが、毎週教会へ行く る勉強を一心にやっている。私はバプテスマ が少なくみすぼらしくもあるが、最も価値あ 五人ばかりの生徒が佐藤姉妹を囲んで福音を 三十畳余りの広い和室の片隅に、ほんの四、 今朝も清らかな安息日に、日曜学校に集う。 私が今一番思うことは、どんな事にもちっ 喜び喜び喜び!私の胸には喜びが溢れる。 柄で話し手の色々な見地からの様々な話 青年の時から神の命令を守ることを習慣 「わが子よ、忘れずに青年の時智恵を得

て、すばらしいモルモンになりたい。ている学ぶ喜びや神への讃美をずつと伸ばし大切ですばらしい言葉でしょう。私が今感じ大切ですばらしい言葉でしょう。私が今感じ

(十七才・学生)

申し上げます。アーメン。

(十五才)



す。

### 私 0 証 詞

### 南 沢 輝 幸 (東京北支部)

しかしその後堕落した為神権は失われて、ルーテル派の教会に移りました

持っていると主張していますが、カトリック教会は以前確かに神権を持つていま て「当教会は神権を持っています。 との啓示を受けました。 の権能も持っていない。 げました時、 私はかって日本基督教団 した後、牧師の祈りの次に、私は一心に全能の父なる神の御名を呼んで祈りを捧 りませんでした。従って啓示の意味が解らないのでした。 会とはキリスト教とどんな関係があるのかどのような内容の教会であるか全く ていない。 りますと、突然牧師の口を通して『この教会は悪魔の教会なり、何の権能も持 た末、この教会の牧師を訪問して悩みを打開けて話会った後、牧師を前に神に祈 大き過ぎたのでは 心に隙間を感じて何の感動もありませんでした。こんなはずはない、私の期待が リスマスに「滴礼」によりバプテスマを受けました。洗礼の後にも以前と変らず して神の教えを守り、 その後十月に豊島区へ移転してからは、近くの日基の教会に移り学びました。そ 教えを学びたいと考えて、昨年三月杉並区のある日茎の教会の門を入りました。 私 暫く日をおいて、今度は始めて学んだ杉並の教会の牧師を尋ねて心の悩みを話 が先日受けましたバプテスマについての感想を話してみたいと 思 今から十数年前神様からの導きによりキリスト教を知ってから長い長い廻り 罪深いなにかしら心に隙間が多く満たされ モルモン教会へ行け。』との啓示を受けました。私はこの時モルモン教 突然前にいた牧師の口を通して『この教会は悪魔の司る教会にて何 ないかと反省いたした。このことについて煩悶の毎日をすごし 空虚な満たされない私の魂を満足させるため自ら求めてク 申し遅れましたが、この牧師はかって会衆を前に説教 末日聖徒イエス・キリスト教会・モルモン教会へ行け。』 (日基)に所属したある二つの教会に通って お カトリック教会では神権はカトリック教会が ない私の魂を満足させ、神の りま ŧ

知

れず、 リスト教でなくては決して私は救 の神に祈りを捧げておりました。 し私は毎朝、 の神に心を向けたこともありましたが、 を注いでみたり、 ていてこの ています」と話 本基督教団では その後私 かえって心の は魂の満たされる道を求めて他宗教の研究に 啓示の意味がやはり理解できませんでした。 毎夕、 した人でした。 周囲の人々の言葉に耳を傾けて、それ ルーテル イ 隙間が広がるようになりました。 エス・ 派とは違 キリストの御名によりて が私の心はかたくなにな 心の底では、 われないことをよく知 いますが、神権を持っ 何れも魂は満 最後にはキ 全能 しか たさ 5 っ 心 た。 教えのように、 て、

その後、

私の心は少しの不安もなく

わ が

満

た

され

周囲

かり握って、一段一

私は長い階段を落ちないように手すりをし

段と昇ってゆこうと決心いたしまし

謝の祈りを捧げなくてはならないと思います。 天のお父様と私たちとを結ぶ唯一の道であります。 たえてくださることを知りました。 り願うならば、 力で解決できない時悩みを持つ時等には、 助けを受けたな」と感ずるようになりました。 のようには動かなくなり、 (悪魔が入り込んで)の誘惑を受けても心は以前 神はこれをお聞きになって聖霊 日常生活において時折 私たちは、 魂 天のお父様に祈 は 私は自らの 祈りこそは 朝夕神に感 の導きをあ 聖霊

ますが、これらの教会は悪魔の司る教会にて何の権能も持 っていないこと、 は、 の真の神の教会である末日聖徒 全能の神よりあたえられた 「権能の鍵 イエス・

督教団等々、

通していたしました。 す。この話と証詞をすべて御子イエス なる神にあらんことを。 願わくは栄光世々限りなく永遠の父 アーメン。 ・キリス トの 御名

(この原稿は東京北支部で二分半の話のとき話されたものです

キリスト教会が持っていることを皆様の前に証

しい

たしま

びと共に末日聖徒としての責任を感じました。 と言われたその瞬 間 にゆきわたっ この時、 の私たち三人にお話してくださった山岸姉妹 間、 私の今までの罪は洗い流されたとの てわ 聖霊天降りて私の全身をおお が魂が満たされるのをはっきり感 バ 

たちの按手を受け福田濃兄弟の「願わくは聖霊を受けよ」

バプテスマを佐伯兄弟より受けました。

俪

ンスリー

長老の勧めに従い、

七月九

Ę

浸礼の後、 真の神の 0

であると確信いたしました。

モルモン教会を知ってから目が浅かったのですが、

ゆくうち、

ておりました。

この頃、

末日聖徒イエス・キリスト教会の

宣教師の訪問を受け、この折求めたモルモン経典を読んで

この教えこの教会こそ私の求めていた最後のも

終りに、私の体験いたしましたカトリック教会・日

現在数多くの異ったキリスト教の教会が

あ

n



# モルモン教の真相

天 谷 通 子 (東京中央支部)



をとった。
をとった。
をとった。
なぜ、この教会だけが正しい教会なのか、なぜ、この教会だけが正しい教会なのか、

は、思想的にひどく苦悩した。者にとっては何の役にも立ち得なかった。私れば、もはやきびしい現実の世の中に生きるれば、もはやきびしい現実の世の中に生きる

それでもなお当時教会というものは不用な

ることに驚く。

ることに驚く。

ることに驚く。

ることに驚く。

きをして苦しんだ。

は、新約聖書のエクレシヤとは違ったものでカソリック、及びプロテス タン トの教会

断崖である。内村氏がどんな聖人であろうと

んだものでさえある。私自身、大きなつまづ 聖餐を省略した無教会は、かなりの危険を含 にすぐれたものであっても、バプテスマ及び の牧師が、教会から給料をもらって説教して であり(即ち古代教会は、神学校出の有資格 本的に違うところの信者の集団を認めたから に彼が西洋で知ったありとあらゆるものと根 点について誤りがあり、ルターも、自己の教 家主義ではなく、新約聖書のエクレシヤの中 会主義(註、無教会主義というのは、人は教 おらないのであり、また、内村鑑三氏が無教 えを決して完全なものであるとは言い切って おられる態度を尊敬している。しかし教義の かりであったし、キリストを真面目に信じて いたものではない)、 その偉大な精神は確か という主張)をとなえたのは、彼の日本的 会員とならなくともクリスチャンでありうる ある。いづれの教会の牧師さ ん も 信 者の方 私の知っている限りでは特良い方たちば

でキリストがそうなさったのは、水で洗うこ調するものです。エペソ書五の二六~二七まだなんてよくない。我々はパウロの思想に同られた時、私はガッカリした)は、「無教会られた時、私はガッカリした)は、「無教会

るものとするためであり、またしみも、しわ とにより、言薬によって教会をきよめて聖な そのたぐいのものが、いっさいなくて、 学者にして大学教授のカール、ヒルティはそ 七(パウロの手紙)にある。すなわち、『それ の著書の中に「テサロニケ第一の手紙四の一

清くて傷のない栄光の姿の教会をご自分に迎

敬けんであったが、浸礼ではなく洗礼であっ ておられた。しかしそのバプテスマの方法は えるためである」。 と聖句を引用して説明し

ない」というある牧師夫人の言葉も本当であ が、「聖書のどこにも、無教会という言薬は が真理であることがわかる」と講義 された 原忠雄先生は、「使徒行伝をよめば、無教会 た。三年程師事した(個人的にではなく)矢内

予言者、十二使徒、祝福師等全部揃っている あって職業牧師は一人もいないこと、 たばかりか、この教会の宣教師は、皆自費で らない死後の運命のことを説明してくださっ あるにもかかわらず、聖書だけでは良くわか また、

神の教えを受け入れておられるのである。

擱筆いたします。

導してくださったマース長老が、まだ青年で

る。私が、この教会の宣教師の方に接して驚

いたことは、私をバプテスマを受けるまで指

代教会の姿をそのまま完全にとっていること である。(また、今の地方部長の今井兄弟に こと、すなわちキリストのお建てになった古 ただき心がさっぱりした)また、スイスの法 パプテスマについて論じ、疑いをはらしてい

を通じて、モルモンとは一体どういう宗教で

ある(その実例の一つに、ある人がある音楽

からである。

ンにも、モルモンというと一夫多妻主義で 今、日本では一般の人はもとよりクリスチ

あるのか知りたく思い、国際キリスト教大学

義に興味をお持ちですかといわれてほうほう

聞きに行ったら、日くあなたは一夫多妻主

うしていつも主と共にいるであろう』という 言葉は、実現しなかった」とあらわしている 包まれて引き上げられ、空中で主に会い、こ から生き残っている私たちが彼らと共に雲に のをみたことがあり、どうしてもそれが忘れ が意外に多い。 一見印度のお経のようにも思われる「モル

リカの新興宗教であるとか思い込んでいる人

スミスをキリストの代りにあがめているアメ

の態で逃げ帰ったとのこと)か、ジョセフ・

られないので、宣教師のベクスタランド長老 ころ、あっけなく、了解できたことがある。 ことであったので、その箇所を読んでみたと あり、1st、2nd、3rd と示されてある」との 八章の九十六節に、それと同じことが書いて に尋ねてみたところ「『教義と聖約』の八十 会の不明なところや、間違いが正され、 つまり、この人たちは、「モルモン経」と、 「教義と聖約」を持つことにより、他の諸教 真の い、モルモン教の感想となったことははなは

も他をハイセキすれば、一部の反論を受ける にきまっているから、ここではそのことにつ ストの福音であることは疑いない、といって モン経」という表紙の本は、実は完全なキリ そ、キリストの真の教えなのである。 あることを、一言つけ加えておく。これこ むしろ、異教徒を丁寧に扱い尊重するもので 会と違って、他を排斥するものではない。否 いてふれたくない。そしてこの教会は創価学 モルモン教の真相という 題が、極めて浅

末日の世に回復された地上唯一の教会である なぜこの教会は真の教会であるか、それは、 だ恐縮でありますが、長くなるのでこの辺で

葉によく出会っています。私たちの中には、

や、これと同じような「時の終り」という言

私たちの大部分は「世の終り」という表現

### AARONIC PRIESTHOOD

怈 終 ŋ

> てます。「世の終り」はいつ起るか。 れた人もありました。疑問は今もなおのこっ

私の生

### チ ブラ

11 月 用

ない経験でした。私たちの中には徹底的な破

「終り」ということを考えるのは愉快で

完全な絶滅、または無に帰することを怖

えた心の不安を記憶している人もあるでしょ 始めてこのような言い方を耳にしたときに覚

れであります。 るか。私にどんなことが起るだろうか等がそ 化が起るか。その日の前にどんな出来事があ きているうちに起るだろうか。どのような変 これと同じ考えが何百年という問人々の心

--- 593

さい。いつ、そんな事が起るのでしょうか。 ろいろの出来事とをお話しになりました。 涯のうち最も大きな出来事の一つが起りまし 逢いになる二日前に、キリストの伝道の御生 あなたがまたおいでになる時や、世の終りに ると弟子たちは心配そうに「どうぞお話し下 を支配していました。キリストが裏切りにお その時、キリストはお弟子たちに向 エルサレムの行く先と再臨の前に起るい す

> 十四〇三)。 終りなる悪しき者の滅亡とには何の前兆ある 汝の来りたもうと、世の終り、すなわち世の この宮とユダヤ人の滅亡とにつきて、汝の言 ようになっています「われらに告げたまえ。 予言者ジョセフ・スミスの改訳聖書では次の か」(ジョセフ・スミス改訳聖書マタイ伝二 いたまいしこれらのことは何時あるか。また (マタイ伝二十四〇三)。

ます。 この教義は信仰箇条の第十条「われらは…… らたまって、 堕落する以前の「月の光栄」に似た状態にあ であります。主の再臨の時に地球はアダムが くることを信ず」と同じことを言っているの キリストは御自ら地上に王となりて治めたま に当ってこの世の中には悪がなくなります。 であります。主の再臨の時に、またはその前 の終り、 います。 すなわち世の終りなる悪しき者の滅亡」とな っていて「世の終り」の意味がはっきりして この聖句の後の方を見ると「世 地球は元にあらたまりて楽園の栄えを受 すなわち「世の終り」とはある状態 別の言葉で言えば「悪しき者の滅亡」 すべての悪は地上からなくなり の終 ŋ

はどんな前兆がありますか」とたずねました

るおそるべき日のすでに近づきて正に門口に ライジャがカートランドの神殿でジョセフ・ した。そして、千八百三十六年四月三日、エ あるを知るを得ん」と申しました(「教義と聖 スミスとオリヴァ・カウドリの前に現われ、 が来る前にエライジャの来ることを予言しま ときに起る悪人たちの滅亡について予言をし ャは彼らに「これにより汝らは、主の大いな マラキの予言が事実となったとき、エライジ れになる四百五十年以前に、キリスト再臨 マラキは「主の大いなる恐るべき日

るのであります。あなたは悪人たちと共に きは今あなたのしている生き方によってきま はすべてのものを失います。あなたの行く先 恐れることはありません。しかし、悪人たち 起りました。あらゆる「しるし」は再臨の近 れとも再臨の時義人と共に「高く 挙 げ ら れ いことを告げております。義しい人々は何も 「刈株のように燃やされる」でしようか、そ このことは、今を去ること百二十五年前に 約」百十〇十六)。

### )F.K MELCHIZET PRIESTEHO

1 月 用

たり。」(実語教 り。人、学ばざれば智なし。智なければ愚人 「玉磨かざれば光なし。光なければ瓦石た

生活することである。第二は天父の御父が我 ある天父なる神との交りを日々欠くことなく

考えられる第一のことは「神性」

の根源と

々に従うよう仰せになり給うた誠命に沿って

我々人類は皆霊に於て神の子である。それ

磨き、 故我々の中には天父なる神より受け継がれた れもしない。 を磨かなければ光りもしないし、また伸ばさ 「神性」が宿っている。 でも一体いかにしたならばこの「神性」を 伸すことができるであろうか。 しかしこの「神性」

> 利とを附与されている我々大神権者は以上三 神の御業をこの地上で推進するよう権能と権 言葉を日々よく学ぶことである。神に代って 日々を送ることである。そして第三は神の御

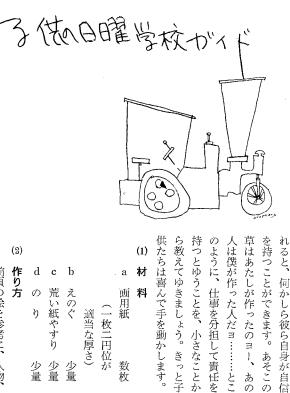
つのことをよく肝に 銘じ 日々「神性」を磨

国発展に少しでも寄与しようではないか。 き、且つ伸ばすことに心がけ、もって神の王

長老定員会の計画



フランネルボードで 使う 紙 背景画を先生と子供たちと共



### 11 月 用

同で製作しましょう。

(物語は先生方に考えていただき

(2)

作り方

背景を書き。色をぬり、切 人物 d

前頁の絵を参考に、

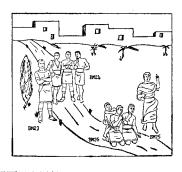
えのぐ (一枚二円位が 適当な厚さ)

画用紙

c

場面(2)○屋外・背景にゼラヘムラの町が みえる。

> ○アルマ(BM23) と、彼の友人 (BM24) 道に沿って歩いてい る。天使の出現(BM25)。友人 たちその訪れに驚き天使の前に ひざまづく (BM26)。



が加わった物を改めて教室で使わ たい。) 子供たちは自分たちの手

場面(1)○屋外

○アルマ (BM21) が立って人々 に説教している。王の兵隊(B M27) その人々をみている。

(5)

人物その他の配置

人形の説明

アルマの友人 年寄の方のアルマ

B B B B B B B B M M M 27 26 25 24 23 22 21

王の兵隊

若いアルマの友人(すわっている)

天使

若いアルマの友人 (立身像)

若いアルマ(すなわちアルマの息子)

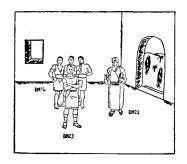
の裏側に貼りつけます。(ボードにつけて落ちてこない程度)。貼ってしまうのではなく、主要部分に、ザラザラの部分を上にして、人形の型の裏側に紙やすりを貼りつけます。この際、大切なことは、型全体にす。その他は、それに準じてください(背景も含む)。 切り取った、色々りとります。人物その他の大きさは自由ですが、立身像が20%内が適当で

### 物語の作り方

絵を使って一つの物語を作っていただきます。から取ってあり順序も同じです。従って先生方は先の章をよく読み、このから取ってあり順序も同じです。従って先生方は先の章をよく読み、このとれらの絵はモーサヤ書(十八章・二十七章)アルマ書(五章・十六章)

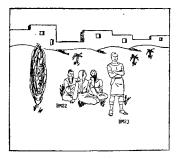
予言者アビナダイに依って改宗したアルマ、人々に教えを施す

もお忘れなく。 長さは20分内が適当と思われます。物語にふさわしい題名をつけること物語の概要です。これに会話をつけ、説明を加え、まとめてください。物語の概要です。これに会話をつけ、説明を加え、まとめてください。王、兵隊に彼らを見張させる――アルマの息子アルマ天使の 訪れ を 受王、兵隊に彼らを見張させる――アルマの息子アルマ天使の 訪れ を 受



場面(4)○第二場面と同じ

○若きアルマ (BM23) が伝道し ている。



場面(3)○屋内アルマの家―屋内

○アルマの友人(BM24)アルマ (BM23)を家まで送ってく る。アルマ自力で歩けない。彼 の父、(アルマBM21)は息子 を受け取り、神の目的を知り感 謝する。

をおかけ致しましたが、 来年度 から はそん

なことがないよう今から準備致 して お

りま



### 学 F 曜 校 ガ

### 11 月 用

### SUNDAY SCHOOL

ストを使います。 Aコース(十二才―十五才)

度の高いクラスをEコースとして別々のテキ

ースが二つにわかれ初級的なクラスをCコー ております。クラスについては今までのCコ

(求道者や新しい会員のため)もう少し程

したことのある本ですので、もう印刷に廻し

来年度のテキストはすべて、今まで使用

Bコース(十六才—十八才) 我等の標準聖典」 百五十円

Dコース (系図の研究) Cコース(十八才以上) 「福音の紹介」 二百円 「古代の使徒」 百円

Eコース(教義の研究) 「シオン山の救い手たち」百五十円

注文するテキストの量と代金を伝道本部気付 各支部の会長会は早速全教師にお願いして 教義と聖約の研究」 百円

中行事の郵便遅配になりますから十一月中に 上野道男まで送って下さい。年末になると年

> えておくのは大変すばらしいことではないで その他古典として認められた文学作品など備

ルモン経典、教義を聖約などの標準聖典、宗教 しているすべての書物(二冊)、新旧約聖書、モ 人は要るはずです。図書室には伝道部で発行

(聖書の読み方、世界の宗教など…)、

しょうか。毎年の日曜学校の予算の中から三

さい。 けてあげることができるように、注文を受け 下さい。後になって注文しても売切れでお断 るほかに十冊位多くお求めになっておいて下 Eコースの本はいつでも要求に応じて本を分 支部でお求めになっておいて下さい。特にC' りする場合が多いですので、予め少し余分に 十月中に量と代金をまとめてこちらに送って こちらから発送したいと思います。 (買わせ方がうまい?) そのため

### 図書室について

またそれを整理する図書係も日曜学校内に一 室が十分活用されねばならないと思います。 ら福音を勉強したいと思う方々のために図書 と思う学生や生徒に大きな役割を果しており 大部分の学校には図書室があって勉強しよう あなたの支部には図書室がありますか? 私たちの日曜学校の一つでありますか

毎こ大きいなるようえき尼って下さい。又会千円ほど図書費に廻すようにして図書室が年

員自身も自分が感動した本を自分一人だけの毎に大きくなるよう気を配って下さい。又会

ものにしないで多くの人々に活用してもらう

図書室に期限つきで貸したり、寄附し

ため、

愛用されるにふさわしい部屋であること、数と思います。とにかく多くの人々に活用され意をこめた一文を書き入れるのも良い方法だ合その人に感謝する意味でその本の一部に謝点をよくよく注意して下さい。特に寄附の場

下さるようお願い致します。主に口語訳の新

ればその方法も失敗してしまいますからそのして紛失しないようよく管理されておらなけたりするのも良いことでしょう。 この 際 決

が多くなくてもよく整頓され管理されている

寸の間貸すとかに図書室の本が利用されて欲の集会でのテキスト、標準聖典など注文を受ける度毎に本部からとり寄せるのではなく図書室にそのような本をおいて注文されたらすぐに渡せるようにしたいものです。
又日曜学校のクラスでその時間だけテキストをもっていない人に貸すとか聖句朗読をしたをもっていない人に貸すとかり間だけテキストをもっていない人に貸すとかり間だけテキストをもっていない人に貸すとかり間です。日曜学校その他ことが最も大切なことです。日曜学校その他

強調して頂きたいものです。

# 開会行事に聖句朗読を!

に是非この聖句朗読を開会行事にとり入れて 有効であることがわかりました。それで皆様 東京中央支部でしばらくやって頂きましした 東京中央支部でしばらくやって頂きましした あために是非聖句朗読を入れて欲しいという 声をよく聞きました。そこで実験的に(?) 声をよく聞きました。そこで実験的に(?) 声をよく聞きました。そこで実験的に(?)

福音を勉強する場所としての日曜学校をよく内外が適当で十節を越えないのが望ましいようです。このときは会衆すべてが聖書を用いうです。このときは会衆すべてが聖書を用いうです。このときは会衆すべてが聖書を用いかいことができるよう必ず新約聖書は知いよりです。このときは会衆すべてが聖書を用いれるなどして……時間は三十秒かを出る。

(3)開会の祈り 二分(1)開会の歌 三分(1)開会の歌 三分(1)開会の歌 三分(1)開会の歌 三分(1)開会の歌 三分(1)開会の歌 三分(1)開会の報告の記されている。

と御期待を乞う!!。

しいものです。

(4) 望句朗読

一分 分

(5) 二分半の話 ☆

(6)分級に際して 一〇

レッスンが始まるようにして下さい。全部で二十分で十一時十分前には全クラスの

# 日曜学校飜訳委員会組織される

頑張りたいと思っております。皆様の御支援 年度Eコースのテキスト「いと奇しき業」を 部の佐藤泰生兄弟 (竜猪兄弟令息)、 訳委員会を組織致しました。その顔ぶれは北 **飜訳するにふさわしい人々を選び日曜学校飜** 訳はすべて本部の飜訳者が行っておりました 飜訳するために準備を致しており、十月から 合子姉妹、私と計六人佐藤竜猪兄弟に顧問と の松浦孝康兄弟、そして日曜学校から鈴木百 支部の神崎良太郎、佐伯忠晴両兄弟、 らなくなりました。そこで東京の各支部から してお目付をしてもらいます。早速一九六三 が、こからは日曜学校自身飜訳しなければな 今まで日曜学校のテキストや補助教材の飜 中央支 西支部



	B	聖		大部分の教会	ジョセフ・スミスへの啓示
神会の	り方々	神会の御三人につい (マタイ伝3:16, = 行伝7:55, 56) イエスはしばしば神 タイ伝6:9, 26:39	て ョハネ伝14:26, 偵 に祈りを奉げた	三位一体:即ち神会の御三人は一人の御 方であって,時に応じて三人の姿に変る。 AD325, ニースの会議でアタナシウス	「神会の御三人は別々の御方である。… 私は二人の御方(神とイエス)をはっきり と見」 (ジョセフ・スミスの著2:17)
	申	人間とイエスは神のかたちに創られた (創世紀1:26, 27ヘブル書1:1一3)主は モーセと顔を合わせて語られた(出エジ プト記33:11) 主の手足について述べてある(出エジプ ト33:22, 23, 24:10, 11) キリストは骨肉の復活体をもっていた (ルカ伝24:30—39)		は 感情ももたない霊だけの御方」と教えている。	天父と御子は人間と全く同じ形をしていた(ジョセフ・スミスの著2:17) 御父と御子は骨肉の御方であって聖 霊は霊だけの御方である。教義と聖 約130:22

### キリストは神の指示を受けて行動なさっ 天父と御子は同じ御方であるから肉体も 天父の指示に従って御子はジョセフの質 た (ヨハネ伝4:34, 6:38, 8:28, 29) 自ら作り誰の指示も必要としなかった。 間に答えた(ジョセフ・スミスの著2:17 キリストは人々にキリストの御名によっ 神父あるいは牧師は神と人間の間をとり -20) キリスト て天父に祈りをするよう戒めた(ヨハネ もつ人であって、ざんげなども彼等を通 神に祈って答を得るのにどのような媒介 伝16:23)神と人間の間をとりもつ御方は して聞きとどけられる。 の人も必要としない(ジョセフ・スミス キリストのみなり(テモテ前2:5, 使4:12) の著2:26) キリストは言われた「サタンよ退ぞけ…」 大部分の教会は聖書を神の御言葉として ジョセフは神に祈り始めるや否や直ちに そこで悪魔はイエスを離れ去り(マタイ 受け入れているが実際に悪魔が存在する 何とも知れぬ力によって捉えられ……あ 悪 伝4:10, 11) ということに疑問をもったり否定したり たりはだんだん暗くなりあたかもこのま 神は悪魔が人間を誘惑する力にある程度 している。 ま急に死んでしまうかのように思われた 制限を加えている (コリント前10:13) (ジョセフ・スミスの著2:15-17)

第1行の聖書と第2行の大部分の教会を比較すると神会についての大切な教義がいかに変えられてきたか一目瞭然であり、正しい教えが回復される必要を感じる。そして第1行の聖書と第3行のジョセフ・スミスの啓示を見較べるといかに正しい教えが回復されたかを知り、心からの喜びを感じるではありませんか……。

神の属性についての正しい理解は真実の信仰にとって欠くべからざる知識である。

主は曾てイスラエル人に「あなたはわたしのほかになにものも神としてはならない」とおおせられた。又キリストは「永遠の命とは神とイエスを知ることにある」ともおっしゃいました。(出エジプト20:3,ョハネ伝17:3)。この末日に予言者ジョセフ・スミスは信仰箇条の第1番目に「神とイエスと聖霊即ち神会の御三人を信ずる」とはっきり言っております。

現在大部分の教会はこの大切な神会はこの大切な神会について聖書と異なった教義をもっております。三位一体論、神は骨肉も感情も有しない宏大無辺の霊のみの御方であるなどの教えがとり入れられております。これらは歴史の示す通り中世の暗黒時代の産物でありそのため正しい啓示もなくなってしまった。1820年わずか14才の少年ジョセフに与えられた啓示は大部分の教会の教えが間違っていることを証明した。だからこそ当時相争っていた種々の教会は一致団結してジョセフを追害したのである。

我々モルモンはそのことをはっきり自覚して真の神とイエスを心から祈拝し讃美する特権を心から感謝しようではありませんか。



### MIA リーター

したいと思う。

### 教師養成レッスン

めてきたので、当分の間教授法に就いて執筆た教師の養成と確保がようやく問題になり始最近のMIAの著しい発展に伴なって優れ準」

第一課 唯一の目的を持って働らく事。第一課 唯一の目的を持って働らを示さる。目的を持って働ら標、狙い、標的等がある。目的を持って働ら標、狙い、標的等がある。目的を持って働らたらに鉄砲を打つハンターのようなものである。生活は意図的である限り意味があるのである。

> うとしているかである。自分自身に尋ねてみ かねばならない第一の事は彼等が何所へ行こ ている。軍隊は奇襲から国土を守るのを目標 な力ある考えである。医者は苦痛を去り生命 ない。目的は人々の活動を有意義にする偉大 かったならば理想的な到達点には達し得られ 業家は亦彼の被庸者や社会に対しても注意深 さを与えているのである。 此の目的がデパートのあらゆる活動に有意義 一定の範囲を設けなくてはならない。 仕事には心配がない。各教師は自分の目標に スで何を達成しようと望んでいるのか。、主の なさい。 "此の活動を通し、或いは此のクラ ろはない。MIAの教師や指導者が知ってお としている。教会に於いても何等変わるとこ には青少年の性格を強く鍛えるのを目標とし を救う。コーチはゲームに勝ち、幸いにも時 い配慮をしているが、若し彼が利益を上げな (手腕の優れた事

3、各活動、儀式、レッスンの為の唯一の特2、年間を通して自分のクラスの全般的目標1、全ての教会の仕事の一般的目標標或いは目的を立てる必要がある。

目標を選ぶこと。

別な目標

で目恉す骠豹に確実に到達するだろう。もし1と2を能く守るなら活動やレッスン

人々を考えることで目指す標的に確実に到達するだろう。

目標を選ぶに当って人々―男の人、

女の

ってもその人達より大切なものは何もないとクラスやグループに属する一人一人は誰であ花子姉妹、荒川姉妹達―MIAのあなた方の人、少年少女、佐藤兄弟、実兄弟、一男兄弟

Ш

各レッスンと活動のための一つの目標

味あるものに合わしなさい。

きにあって我々の仕事もかくあるべきである間に不滅と永遠性を与える事である。神の働

云う事を覚えておきなさい。

神の終ることのない創造の仕事と栄光は人

全てに亘る目標

我々の最終の目標は神の王国の日の最高の

に大きな喜びが増すのである。 栄えに入るように手助けする事である。こ 大生活をすることで達せられるから、教会の た生活をすることで達せられるから、教会の を与ない。厚ち真のクリスチャンになり、真 面目な末日聖徒になるよう、またキリストが 教え給うた諸原則を理解し、愛し、生かすよ すいる事である。それによって彼等は神の 子供達に充分になれるという可能性を知る時 で大きな喜びが増すのである。

一年間の各課程の基本的な目標

п

さい。またそのクラスに直接必要なこと、與標を各グループの為に書いてやるようにしな師はその一年間に求めようとする幾つかの目師はその一年間に求めようとする幾つかの目

レドの兄弟、アブラハム、ペテロ、アルマ、

特定の目標を立てなさい。教える時でも頭の或いは活動を計画する際には非常に限られた。 あなた方がレッスンやファイヤ サイド、

ここだりであると、「ないで次しいのもついた」であると、云われているが、良いレッスンもい。良い話とは組織されて説明されたアイデい。

ッスンに適当である。

な一つの主題では不十分である。此れは一回な一つの主題では不十分である。然し信仰のようが、最も効果的にはそれ等は一つの大きなポイクを示している筈である。全ての標に強く連結されているべきである。全ての標に強く連結されているべきである。全てのが、最も効果的にはそれ等は一つの大きな目が、最も効果的にはそれ等は一つの大きな目が、最も効果的にはそれがある。とれば一回ないで欲しい。幾つかまた然りである。誤解しないで欲しい。幾つかまた然りである。此れは一回ないでないが、

うか。どんな意味で神の賜物であるか。ジェられ、それを失うか。信念や知識とはどう違れている一切―信仰とは何か、如何にして得れている一切―信仰とは何か、如何にして得る。或る人は信仰のテーマで一冊の本をのレッスンでは余りにも大きくて広いテーマのレッスンでは余りにも大きくて広いテーマのレッスンでは余りにも大きくて広いテーマのレッスンでは余りにも大きくて広いテーマのレッスンでは余りにも大きくて広いテーマのレッスンでは余りにも大きくて広いテーマのレッスンでは余りにも大きくて広いテーマのレッスンでは余りにあるか。

幾つかの目標を置いてみる。各々は一度のレきて一回のレッスンで教えようと意識的に考える。明らかに教師は話す一切が例え信仰とえる。明らかに教師は話す一切が例え信仰とえる。明らかに教師は話す一切が例え信仰とえる。明らかに教師は話す一切が例え信仰とえる。明らかに教師は話す一切が例え信仰とえる。明らかに対したものであっても一度のレッスンでそれだけを網羅し得ないだろう。或っながは学生なら学生に必要な信仰の範囲内で、もっと限定された特定の目標を見付けるできない。

助けてやる。

1信仰とは何か―信念や知識とはっきり区別
は信仰とは何か―信念や知識とはっきり区別

以上の目標の各々は一度のレッスンでも大き4盲目の信仰とそうでない信仰とを見分けるよう学生達を助けてやる。

目標を明らかにすること。やると全てを弱くしてしまう。いくらいである。此のうちの幾つかを一度に

してみなさい。 れぞれはどう云う場合であるかを各自で検討 れるレッスンの種類に依ると考えられる。そ 質問がしばしばあるが、此れはやはり教えら 黒板にその目標を書くべきであるか。と云う

になる。 は目標であり、高い教養を身に付けた社会人 問を学ぶ。教会へ出席して福音を学ぶ。以上 えばあまり良い例ではないが、学校へ行き学 の生命を得る。 過程の際の手段である。と云われている。例 る。目標とは目的―最終の理想像―に達する \*目標と目的は厳密に云って意味が異な 神の王国の最高の栄光に到る―永遠

は目的である。

一課終り

佐藤襄二記

### 今年度の「M IA」テーマについて

れたことと思います。 於いて各地方部長さんより其の通知を受けら 教議と聖約百十二章十節」です。 此のテーマについて次の質問が或る支部よ 九六一年―一九六二年MIAテーマは 各支部に

> 手引きは今年の日本のMIAに間に合わない です。即ち九月に中央委員会より受け取った

ッスンのクラスについて考え、決定するわけ

わけです。其の為に一年間おくれて、

来年の

テーマとなり、

リカに於けるMIA関係の雑誌)によるとM 即ち「インプルーブメント・エラ誌 (アメ

Ι

A テー

マは来年度の日本のMIAテーマと

読書課程となるわけです。 MIAのプログラムとなり、

インプルーヴメントエラ誌にのっていたM

り寄せられました。

教師はレッスンの初め、或いは終りにすら 世界中どこでもMIAテーマは同じではない IAテーマは第一ニーファイ第三章七節です のしようか?」と言うことです。

は、中央委員会より出版される手引が其のま

なるわけです。英語を用いない 国に

あって

になって居ります。当然テーマも読書課程も 年おくれてマニエル(手引き)を使用すること 語を用いない我が国にあっては飜訳の為に一 が其の年のMIAの始まる時である為に、 世界中同じものが使用されます。 Aのプログラム、そしてテーマ、 メリカのMIA中央委員会からの手引の発行 此 の御質問にお答え致します。確かにM しかし、 読書課程は 英 ア Ι

備し、印刷し、日本の国に於けるMIAの わけです。此れを一年間かかって、飜訳し、準 始めに私達伝道部のMIA指導者に渡される 手引は八月の終りに伝道部に送られた九月の です。例えば、一九六一年―一九六二年用の レッスンも、カレンダーも一年おくれるわけ V

> でやはり世界共通のプログラム を用 思います。このことについては問い合せて見 ま使用出来ないのでこの様なことになるわけ あると言えると思います。 る。世界共通のテーマである。カレンダーで プログラムを組んでおりませんので、其の点 るつもりです。しかし、日本に於いて独自の く出来るとすれば日本に於いても間に合うと です。中央委員会よりの手引があと六ヵ月早 いてい

### 十一月九日「 演説祭

らテーマを選ぶと良いでしょう。 共通に持っている問題について考え其の中か ある、と言われている様に、私達若い世代が える言葉による表現力を一段と伸ばす機会で を持っているか調べておくと良いわけです。 らかじめ多くの人がどんな話題について興味 こりながら演題の提案に頭をいためます。あ スピーチ・コンテストは、人々が智と情に訴 今年度の演説は早くやって来ます。 毎年 Ó

ことでしょう。 あって、時間の制限、或いは人選共の点で困る そしてコンテストに於いては大きな支部に あらかじめMIAの各クラス

-- 604 --

また今年度は伝道部より次のことが提案さに於いて予選を行っても良いわけです。

わけです。 れて居ります。 れて居ります。

ーレルの人々も二名以上含まれる方が良い) 中Rを行う。ポスターは早くから支部良い) 中Rを行う。ポスターは早くから支部内にはられるべきであり、すべての人々が参加するように呼びかける。また審査委員を選加するように呼びかける。また審査委員を選加するように呼びかける。また審査委員を選加するとうに呼びかける。また審査委員を選加するとうに呼びかける。また審査委員を選加するともでは此の後のプログラムを計画するに当っては此の人々も二名以上含まれる方が良い)

グラムは成功するでしょう。 栄子記習する様に進めることによって此の夜のプロ題について前以って良く研究し、準備し、練行うと良いでしょう。参加者が自分の話す話ループB」「グループC」と言う様な方法でループB」「グループC」と言う様な方法で良い。コンテストの審査であるが一位二位と良い。コンテストの審査であるが一位二位と

### 音楽指揮者の為に

或る一人の訪問者が支部にやって来た。まわりに座っている一人一人の顔を見たが誰れた、しかし皆と同じ様に本を取りあげ開会のた、しかし皆と同じ様に本を取りあげ開会のた。彼はそうに指揮をしていた。彼は居は笑みが浮んで来た。彼の心は愉しくなった。彼はその知らない支部を訪問した夜もなった。彼はその知らない支部を訪問した夜もなった。彼はその知らない支部を訪問した夜もなった。彼はその知らない支部を訪問した夜もなった。彼はその知らない支部を訪問した夜もなった。彼はその知らない支部を訪問した夜もなった。彼はその知らない支部を訪問した夜もなった。彼はその知らない支部を訪問した夜もなった。彼はその知らない資を上げて音楽指した。まれている。此の様な経験を貴方もしたなった。ないあったことだろう。

### ◆お知らせ◆

を参考迄にのせます。

◎「エンサイン・ローレルの手引」が出来ま ◎「エンサイン・ローレルの手引」が出来ま に提出して下さい。 ○MIAの記録帳が出来て居ります。各支部 で一冊備えて下さい。 会書記を通じて伝道部に注文して下さい。 長会書記を通じて伝道部に注文して下さい。 長会書記を通じて伝道部に注文して下さい。

送付下さい。 良く表現した写真があったら左記の住所へ御 ◎各地方部MIA大会に於いてMIA活動を

東京都練馬区春日町一丁目二六一〇

にリフレッシュメント(軽飲食)を出してもが組まれるとすれば、第一部と第二部との間

けることだろうが、皆でやることの第一は、

会がはじって先ず司会者が立ち、笑顔を向

のスピーチコンテストと言う様にプログラム

チコンテスト、第二部Mメン・グリーナー若し、第一部エンサイン・ローレルのスピ

F- C 110 HZ 215 115 02

### MIAエンサインローレル教科課程



「あなたの古ランプを取引きする前に魔物に出て来いと (アラジンのランプより) 言いなさい。」

日聖徒である若い人々にとって大切な教訓に アラヂンと魔法のランプのおとぎ話は、 十四)。 を軽んじた」 (創世記二十五〇三十一三 末

た。このようにしてエソウは長子の特権

与えたので、

彼は飲み食いして立ち去っ

なります。アラヂンは、

あのランプに偉大な

価値のあるものを持っているわが教会の会員

すべてをひっくるめたよりも、

もっと偉大な

テキスト「エソウはヤコブに言った、 に何になろう。 特権を私に売りなさい。 …ヤコブは言った、まずあなたの長子の その赤いものを私に食べさせてくれ。… は飢え疲れた。 ためには何をすることができるか。」 たちが真理の偉大な価値を知らずに、貴 と幸福が得られるという言葉である。 て居り、福音の教えを守れば必らず進歩 々の述べた証詞は、 わたしは死にそうだ、長子の特権など私 い真理を手の中から逃がしてしまわない おねがいだ、赤いもの、 ヤコブはまた言った、ま 福音が何よりも優れ エソウは言った わたし 私

ら行われたことでした。彼は「新しいランプ

いました。彼がめぐらした策略はずっと昔か

計りごとでそのランプを手に入れようとして くれるということを知っていた魔法使いは、 ンプの持ち主には魔物が何でも頼みを聞いて なたは思い起すでしょう。

ところが、このラ

役にも立たないものだと思っていたことをあ

力があるという秘密を知るまで、

それが何

問題点「これまで長い間にわたって善良な人

りと美しいかざりにひきつけられました。 人の提供する新しいランプのピカピカした光 いたアラヂンの妻は、 夫のランプの古くさい形だけが目につ 町の中を流して行く商

て行きました。

ンプを古ランプと取りかえ」と町の中を流し

を古ランプと取りかえます。

ええ、新しいラ

ととりかえてしまいました。 ある財産を外見のほか何のねうちもない安物 にも知らずに、アラヂンの妻は大した価値

人は世の中に出ると間もなく「新しいラン

特権をヤコブに売った。そこでヤコブは ず私に誓いなさい。彼は誓って、長子の

パンとレンズ豆のあつものとをエソウに

す。これはアラヂンのランプ、妖精そのほか プを古ランプと取りかえ……あなたの持って をお取りなさい」という呼び声をかけられま いるものをすててもっとみりょくのあるもの

何

にとってとくに然りであります。

この呼び声は普通、私たちが家庭や教会で

にやれ」というすすめも受けます。個人の理でいます。それから私たちは「皆のするようなの標準は古くさくて現代人の生き方ではも会の標準は古くさくて現代人の生き方ではもなの標準は古くさくで現代人の生き方ではもないという批難をいつも含んながます。私たちの抵数えられてきた標準をすてさせようと誘惑す

世の中には「新しいランプを古ランプと取のやみ市でそれをしていることに気がつくのであります。

を避けようとしています。そして間もなく私

ます。私たちはこのようにして叱責と訓戒としいことからまずやってみるのが普通であり

りかえ」という呼び声をしばしばかける第二

を得ず妥協という悪におちいって しまい ま反社会的であるときめられます。そこでやむ想を守るという意味での個人主義はがんこでにやれ」というすすめも受けます。個人の理にやれ」というすすめも受けます。個人の理

ちのもっている貴い知識とちがっていると思な教育を受けさせられます。その中には私たな教育を受けさせられます。その中には私たな教育を受けているうちにいろいろの教育経験を頼を受けているうちにいろいるの前のやり方があります。私たちは自分の心の訓

正しい行いをするのだという強い意志を破っいますが、一度垣を低くして、何が来ようとはついては決して譲歩しないと企てている地については決して譲歩しないと企てている地のようにひろがって行きます。私たちは標準のようにひろがって行きます。私たちは標準しかし、一たん妥協が私たちの体の道徳組しかし、一たん妥協が私たちの体の道徳組

と力強い個性の影響を最も強く受けるのであそうとする先生たちの影響を受けています。 人生のこの時期に於て、私たちは新しい考え程度の熟練と能力とによって気高い責任を果 程度の熟練と能力とによって気高い責任を果

とフェレイ性の景響を見き近くられることが戦的な芝居がかりの教義を受け入れることが飾りの美しさに見とれて、人間のつくった刺飾りの美しさに見とれて、人間のつくった刺かりの美しさに見とれて、人間のつくった刺

本当に必要ではありませんか。

ります。譲歩の危険がほとんどないと思えるどちらかと言うと些細な原則からいつも始ま力のなすがままになるのであります。妥協はてしまうと、手のつけられないほどひろがる

私たちは他人の見つけることのむつか

無節操な人々は、大げさな理想主義をかが

気がついてももうおそいのであります。気がついてももうおそいのであります。 な教育のないときに誘惑をする ので あります。私たちの多くが自分に気のつく窮境について大いに残念なのは、私たちがこれら金ピカの売物を大安売りの価段で即金ほ金を払って買うことであります。物事がわかるほど成長したときに私たちは、偽の前提にもとづく長したときに私たちは、偽の前提にもとづく長したときに私たちは、偽の前提にもとづくの利子の支払もまた無限に強要されることに気がついてももうおそいのであります。

を与えて下さる聖霊のめぐみを受けることは 若いうちに私たちが考えの市場に立ち入った ませんか。私たちが考えの市場に立ち入った とき、教会の活潑な会員であることによっていることは本当に肝要では ありませんか。私たちが処理しなくてはならない考えや 個性のもっている意向と目的とを識別する力 個性のもっている意向と目的とを識別する力 にいる ことに ならない ることは 本当に 大切ではあり 音を 専心勉強することは 本当に 大切ではあり を与えて下さる 聖霊のめぐみを受けることは おいうちに私たちがイエス・キリストの福

しかしながら、彼の前にあらわれるあらゆるで新しい知識からかくれるには及びません。当でないものがあるかも知れないという理由当ではいまけいがあるがも知れないという理由では、新しい知識の中には本

りかえる前に、自分の手にあるランプの価値 すべての末日聖徒は、 音が立っている真理の基本原則であります。 があるということは、 を完全に知り且つ理解しなくて はなり ませ プをまだ試みたことのない新しいランプと取 教義を受け入れる前にこれを完全に知る必要 自分のもっているラン イエス・キリストの福 ら教えていただきたいと言いました。 とのできるもっと良い生き方を知っているな

すててその束縛から自由になったのだと言い ました。そのほかに何ら提案することのでき の独断とは全然相容れないから、私は教会を しました。教授はこの時、知的自由と宗教上 して何らの準備もないことを暴露(ばくろ) 教授の答えは、教授がこのような挑戦に対

還宣教師が立ち上って、この教授の立場に挑 授の説教が終ったとき、学生の一人である帰 授はわが教会の起原を「迷信である」ときめ 教上の信仰を教壇から批難しました。この教 た信仰の代りに、 授に向って、今教壇から公然破壊しようとし きっぱり述べました。そしておしまいに、教 の発見したどんな生き方よりも優れていると 教会が先に立って教えている生き方が、自分 ました。そして、末日聖徒イエス・キリスト について自分の行った真面目な研究とを話し 分の広い経験と、その人々のもっている信仰 戦しました。彼は世界中の人々の中で得た自 の信仰は信ずるに足らないと言いました。教 つけ、さらに進んで教会のもっている基本的 クラスの学生に推賞するこ

> 生に向い「今私たちは、役に立つ何物かと無 宣教師であった学生は再び立ち上って組の学 る組織立った計画をもっていませんでした。 てしまった人々が沢山に居ます。

大多数を占めている末日聖徒のもっている宗

とを選ぶ最も有益な実例を得たと私は思いま

最近、ある大学の心理学の教授が、学生の

言 由を楽しむよりも、むしろ今私たちのもって にとりまかれております。その証しは全く確 計画に従った人々の生涯に起ったことの証し 私たちはすばらしい計画をもっており、その することのできる計画は何もないと言ってお す。教授は、自分は信仰はないが知的自由が いるものを固く守ろうではありませんか」と かなものであります。私は無を信ずる知的自 られます。私たちは信仰があります。その上 いところに存在しません。しかも教授は提案 あると言われます。真の理知主義は何にもな いました。 す。このような不幸な決定に関聯して私たち

ります。 取換え」という叫びの第三の主な源がまだあ ラブをよく見てごらんなさい。所によって割 ちょっと私たちのまわりを見廻 す だけ でよ まうとき、この人々に何が起るかを見るには とする悩みによって理想と標準とをすててし になることとは両立しないと早いところきめ も、実業界で成功することと教会の良い会員 合はいろいろちがいますが、そこ には いつ たとえば、実業家たちが通常集る午餐ク 人々が物質的な過ぎ行く物を得よう

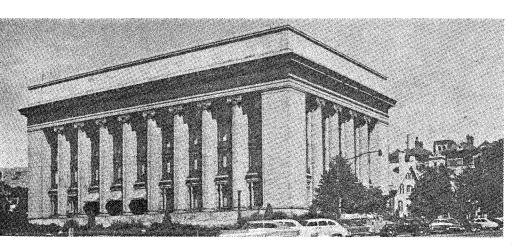
教」の実業家や「社交界で頭角を現わそうと 速に無意味になるものと取換えるのでありま は永遠の価値をもっている大切なものを、 する」女の人たちの誤った選択によるかけね 満足させる女の人々に起ります。これら「無宗 員である前に、熱望している社交的の要求を のない結果は同じであります。これらの人々 これと同じ問題は、教会に於いて活 一般な会

ちであるということであります。 とは年の若いときに始まり、また一番良い結 果を以てこの事が整えられるのは年の若いう 向を受け入れるために心の状態を決定するこ が忘れてならないのは、このような行為の方

世

の中には「新らしいランプを古ランプと

### ジョセフ・フィールディング・スミス著



### 末日聖徒イエス・キリスト教会歴史粋

ットマーの助けを得た。

できるように準備したが、この仕事をするに当り彼はジョン・ホイイヤットへ帰り、ジョセフはこれまでに下った啓示をいつでも記録よって為されねばならなかった。そこでオリヴァ・カウドリはフェと命ぜられた。すべての事は祈りと信仰により教会員の全体一致に

22

第十四章 教会公けの伝道開始第二部 時満ちたる神権時代の開始

二人がこの仕事にたずさわっていたときに、オリヴァ・カウドリ は一通の手紙を寄せて「われらの間に偽善売教のないよう」これまは一通の手紙を寄せて「われらの間に偽善売教のないよう」これまは一通の手紙を寄せて「われらの間に偽善売教のないよう」これまは一通の手紙を寄せて「われらの間に偽善売教のないよう」これまは一通の手紙を寄せて「われらの間に偽善売教のないよう」これまは一通の手紙を寄せて「われらの間に偽善売教のないよう」これまは一通の手紙を寄せて「われらの間に偽善売教のないよう」これまは一通の手紙を寄せて「われらの間に偽善売教のないよう」これまは一通の手紙を寄せて「われらの間に偽善売教のないよう」これまは一通の手紙を寄せて「われらの間に偽善売教のないよう」というのは、オリヴァ・カウドリカいたのである。そしていくらかの困難が高ったが熱心な祈りの結果、これらの人々は啓示の言葉が正しかったが、これらの手紙を表している。

<del>---</del> 609 ---

彼らに要求される働らきをするためもっぱら彼らの時を費すべし、

ヴィルに於ける教会員を確認し、大会を開くために西部に赴くまでットマーに下り、その中で彼らは聖典を学び教えを説き、コーレス

啓示がジョセフ・スミス、オリヴァ・カウドリおよびジョン・ホイ

オリヴァ・カウドリの誤り。千八百三十年七月にまた一つの

たことを確信し再び平和が勢いを得た。

妻がハーモニーへ訪問のためにやってきた。これまでニューエル・ 聖餐に関する指令。 その年の八月、ニューエル・ナイト夫

ジョセフが葡萄液を買うために出かけた。すると、ジョセフが家を ーがこれに加わって集会を開き、聖餐をいただきたいと思ったので で、この時確認を行うことにした。前記四人とジョン・ホイットマ ナイトの妻もジョセフ・スミスの妻も確認の式を経ていなかったの

ら聖餐に与る時、もし汝ら誠心よりわが栄光のため にこ れをなさ 傾けよ。その声は生命あり、能力あり。見よ、われ汝らに告ぐ、 「汝の主、汝の神、汝の贖い主なるイエス・キリストの声に耳を

誠命を受けた。すなわち、

出てあまり遠く行かないうちに一人の天使に行き逢い、次のような

ば、すなわち汝らのために葬られたるわが体と汝らの罪ために流さ も主の「みたま」により神の権能によって聖餐に与るならば何を食 このわが父の王国に於て、汝らの中にて新につくりたるもののほか 買うことなかれ。それがために、誠に汝ら地上に打ち建てらるべき 何を飲むともあえてさしつかえなし。それがため、われ今汝らに一 れたるわが血とを父の御前に記念してこれを為さば、汝ら何を食し は何ものをも飲むことなかれ」(教義と聖約第二十七章一―四節)と。 つの誡命を与う。すなわち、汝らの敵より葡萄酒もまた強き酒をも い何を飲むともさしつかえなしという知識は、葡萄酒の代りに水を これは当教会に下った多くの大切な啓示の中の一つである。 汝

> も老いたる者」たるミカエルすなわちアダムより今日に至るまでの 中よりわれに与えたまいしすべての忠実なる者たちと共に飲む時来 古えの諸予言者および使徒たちと共に飲み、またわが父がこの世の 餐をいただき、二人の姉妹を教会員として確認した。 ればなり、と。 そこで上記の誡命に従い、集った人たちは自ら葡萄液を調えて聖

た。「われ葡萄の 蔓の実より造りたるものをこの世に在りて「最

三、ジョセフ・フェイヤットへ移る。 このころハーモニーでは

ずハーモニーを去ってフェイヤットに居を定めざるを得なかった。 迫害の精神が盛んになってきたので、ジョセフ・スミスはやむを得 ジョセフの義父に当るアイザック・ヘールでさえ、当時流布されて

民の中で最も烈しい連中の側を度々通りすぎ、この連中はまた彼ら わめて烈しかったからである。彼らの祈りは応えられた。彼らは暴 したまえと祈った。それはコーレスヴィルに於ける敵の憎しみがき ってそこに住んでいる教会員たちを訪れた。彼らは敵の眼をくらま

イットマーとデビッド・ホイットマーとを伴い、コーレスヴィルへ行

八月になってジョセフ・スミスとハイラム・スミスとはジョン・ホ

気持ちは一生涯彼を離れなかった。

いた虚偽と近隣に在った偏見とのために彼に背を向けた。この苦い

々は聖餐をいただき讃美歌を唱い、妨害を受けることなく証詞をし スマを受けていた人たちは皆教会員として確認された。これらの人

のである。それは主がそのようにせよと命じたもうたからである。

いるという、当教会の中で現在行われている慣例の根本をなすも

九月になって、主はこの啓示につけ加えて次のように仰せになっ

て主をほめたたえた。そのあくる日、兄弟たち一行は平安のうちに を一心に見すえたが、それでも連中には彼らが誰であるかわからな 一行が目的地へ着いた日の夕方、集会が開かれて、すでにバプテ

聖徒とわかれ、やがて無事に家へ着いた。

りて誌すを得べし、されど己が上に長たる者に命令すべからずと教 によるものではなくて、彼をまどわしたサタンの力によるものであ にアロンの如くこれに従い、以て能力と権威とによりて教会員に誠 りともこの教会に於てわが誠命と啓示とを受くるために任命せらる ると告げよ、と命ぜられた。同時にまたオリヴァは、汝の知恵によ ・ページをひそかに連れて行って、彼がこれまでに受けた啓示は主 鍵を持っているからである、と仰せになった。オリヴァはハイラム 何人も啓示を受けるために任命を受けない、それは彼がこの権能の 命と啓示とを忠実に告げ知らすべし」と。 くる者なればなり。されば、汝はわが彼に与うるところに就きて正 ることなし。そは彼は正にモーセの如くわれより啓示と誠命とを受 われ汝に告ぐ。わが僕ジョセフ・スミス(二代目)のほか、何人た きのため指し示したもうた。すなわち「されど見よ。誠にまことに カウドリに啓示を下し、その中で啓示に関する天の秩序を教会の導 れた。そこで主は予言者(ジョセフ・スミス)を通してオリヴァ・ ろがオリヴァ・カウドリとホイットマー家の人々がこれにまどわさ ている救い主やその使徒たちの教えとも一致していなかった。とこ セフ・スミスの受けた数々の啓示と一致せず、また新約聖書にのっ めと称する数々の啓示を受けていた。しかし、これらの啓示はジョ に陰険な攻撃を加え始めた。かの八人の見証者の一人であるハイラ フェイヤットに居を定めてから間もなく、サタンは教会内の働らき ム・ページは一つの石を手に入れ、この石を用いて教会の導きのた 四、ハイラム・ページの受けた偽の啓示。 また更につずけて、主が別の人を彼の代りに任命したもうまでは ジョセフ・スミスが

えられた。

偽の啓示の中でシオンの市を建てることについて何か言ったことはったが、それは充分に啓示されなかった。ハイラム・ページがそのなっている。この伝道をするに当ってなおいくつかほかに理由があえを受けなば、レーマン人の中にわが教会を建てさせよ」と仰せにえを受けなば、レーマン人の中にわが教会を建てさせよ」と仰せにえ、レーマン人への伝道。 この啓示の中で主はオリヴァ・カウエ、レーマン人への伝道。 この啓示の中で主はオリヴァ・カウ

本当らしい。

その中にはその大会に出席する長老たちを指導するに役立つ多くのである。 一次、集合の教養――悪人の滅亡。 このために啓示を受ける任命を受けていないと教えるはずであった。 のために啓示を受ける任命を受けていないと教えるはずであった。 のために啓示を受ける任命を受けていないと教えるはずであった。 のために啓示を受ける任命を受けていないと教えるはずであった。 でから始めることになっていた。またオリヴァはまずのために啓示を受ける任命を受けていないと教えるはずであった。 であった。 でから前めることになっていた。またオリヴァはまずのために啓示を受ける任命を受けていないと教えるはずであった。 であった。 であった。 その中にはその大会に出席する長老たちを指導するに役立つ多くの その中にはその大会に出席する長老たちを指導するに役立つ多くの

所からすでに出ていた。邪悪のこの世になからんため地球の滅亡熟しなければならぬからである、という神の命令が御父の住みたもう者であって悪人たちに艱難と滅亡が下る日に備えてその心がまえを一つ所に集らねばならない、聖徒たちは世の人々の中から選ばれたこの長老たちは聖徒の集合に関する教義を教わった。聖徒たちは

指令が含まれていた(教義と聖約第二十九章参照)。

する時は近し、と主ははっきり仰せになった。

しめたもう。烈しい雹が地の収獲を滅ぼすにちがいない。「あぶ」が なる憎むべき教会はエゼキエルの言った如く猛火によって焼き払わ 空の鳥が彼らの体を食い、地上に不義がなくなるまで続くかの大い ばり肉は骨より離れ眼は落ちくぼむにちがいない。而して森の獣と が行われているから、主は必らず恐ろしい疫病を遣わして人類を苦 「地に住める人々にとりつきて」人々の肉を食い、人々の舌はこわ この世に住む人々に少しも悔い改める心がないのでこの世に悪事

これらのことはすべて使徒たちの予言したところであるから、 実

じた。

れるにちがいない、にくむべき悪がこの世を支配してはならないか

らである。

徙らと共に千年の間地上で統べ治めたもう。この千年が終ると人類 業に従った十二人の使徒たちが、主の誠命に忠実であったイスラエ 際に現われなければならない。また救い主と共に導きと恵みを施す 最後の復活があって義人は迎えられて永遠の生命に入り、悪人は追 は再び主を捨て始め、地球はしばしの間だけ助けておかれる。次に の音が鳴り響いて死んだ義人たちはよみがえり、キリストはその聖 ルの家の者を審くために栄光を現わして来るにちがいない。ラッパ

死は最初アダムに言いわたされたと同じ死であって、すなわち主の 塵といえども失われることはない」これらのものはみな主の御手に とく新しくなることであるが、それでも「一筋の髪の毛、 に帰ってくることができない、彼らにはその権能がないからである 御前から追い払われることである。第二の死を受ける者共は主の許 い払われて悪魔とその使たちと共に第二の死を受ける。この第二の 次に地球の贖いが起る。それは古いものが過ぎ去って万物ことご

> 時に長老が八人、祭司が四人、教師が二人出席したが、これより先 に教会員はフェイヤットの大会で会合した。この大会が召集された 三十五人が教会に加わっていたので全部で合計六十二人となった。 よって造られたものであるからである。 七、教会の第二回目の大会。 申し合わせに従い、九月二十六日

べてあるイザヤ書第五章を読みこれについて解説を施した。 それからハイラム・ページの「のぞき石」のことを討議したが、 ジョセフ・スミスが祈りを捧げて会を開き、次に集合のことが述

全員がその石を放棄したので皆の者は再び互いに満足をし幸福を感 相当によく審査をした結果ハイラム・ページを含めてその場に居た

して確認した。 多くの議事に身を入れ、前にバプテスマを受けていた人々を会員と 三日間つずいたこの大会には主の「みたま」の顕われがあって、

ウドリとピーター・ホイットマー(二代目)とのために特別な祈り またレーマン人のところへ伝道に行く召しを受けたオリヴァ・カ

に次回を千八百三十一年一月一日に開くこととし、デビッド・ホイ

示によって伝道に行く召しを受けたのであった。大会が終ったとき が捧げられた。ピーター・ホイットマー(二代目)はこの大会で啓

プテスマを受け、多数の兄弟が按手聖任された。 ットマーが記録をするよう任命された。またこの大会中に数人がバ

随行してレーマン人のところへ行くほかの人々の側に非常に切な顧 ಕ್ಠ ザイバ・ピーターソンとパーレー・P・プラット召しを受け オリヴァ・カウドリとピーター・ホイットマー (二代目) に

いが現われていたので、これを主の御前に伺うこととした。その結

<del>---</del> 612 ---

者ジョセフ・スミスを探しにマンチェスターへ出かけた。そこで彼 ことを始めて聞きこの牧師から一冊のモルモン経を受けた。彼はこ ピー・プラットはクリヴランド市から程遠くないオハイオの荒野に 果ザイバ・ピーターソンとパーレー・ピー・プラットが随行する任 せよと啓示によって任命されたのであった。 と共にミズーリの辺境へ赴いてレーマン人の間に伝道をする旅行を へ帰ってくると、パーレー・ピー・プラットはオリヴァ・カウドリ さま彼の言葉を受け入れて教会の会員となったそしてフェイヤット くに福音を宣べ伝えたところ、十九才になる彼の弟オルソンはすぐ 旅をつずけて行った。ここで彼は自分の両親と少年時代の友人の多 後間もなく彼は長老の職に按手聖任され、それから自分の父の家へ 九月の一日ごろオリヴァ・カウドリからバプテスマを受けた。その なって彼はハイラム・スミスと共にフェイヤットへ旅行し、そこで たが、今度はもう一度非常に注意してこれを読んだ。その後八月に はハイラム・スミスに逢って福音を教わりモルモン経を一部贈られ のモルモン経の一部分を読み終った後、自分の計画を変更して予言 き、ハムリンという名のバプテスト派の牧師を通じてモルモン経の ニューヨーク州コロンビヤ郡に居たときに住んでいた家を訪れたと と称していた教派のために伝道旅行をしていたうちに、自分が前に 住んでいた。彼は「ディサイプル旅」もしくは「キャンベライト」 の仲間であって教会の第一回大会の時に長老であった。パーレー・ 命を受けた。ザイバ・ピーターソンは最初にバプテスマを受けた人

# 十一月子供日曜学校練習の讃美歌

### 十七番「安息の朝」

同じようなメロディーですので憶えられると思います。くださると思います。この歌は一つのリズムにのせるようにすると「拍子のうたいよい歌ですので、子供たちもよろこんで練習して

来月は

讃美歌集「二○七番」もろびとこぞりて です。

### 十一月練習の讃美歌

# 第一四六番「たたえよ神を」

新しい讃美歌集にもなれましたので、新しい歌を練習していきまかにするようになったらアクセント(強・弱・中強・弱)をつけるよたえるようになったらアクセント(強・弱・中強・弱)をつけるよかにえるようになったらアクセント(強・弱・中強・弱)をつけるようにすると美しくなります。

来月の歌は

二一一番「なつかしい鐘は鳴る」

伝道本部だより

他福小面森水শ田化任上展野村村沢大沼武清平橋竹井佐古四山 沢黒田山野井代谷吉井山井上上井石田藤塚田本中口藤賀田坂 正千雅チ弘守武久 征信一勝雅 昭和正敏佳征久純文幸隆和 恵 ヅ 爾子子子也彦子洋修弘彰真彦治滋代子子江子恵子子江子一代

ブルルルルルグイ那ルルルル横のロルルル東東ルルルル東価ルル札がルルサ イ1 京京 京 ン トス覇 浜 形 西南 中台 幌樽 ト 央

ツヤ〇 金李李林閱 襄曹金 宋宋徐関李李李金金洪方崔 t () ヤ〇 タ (対力が)教師 +ジ長老 ッ 祭 シ 司 チス執 (韓ダダ 競シ 国口 国シキ 围 ( 弘漢京炳允東英東 允金京泰君吉東玉安敬完正 タ て 0 ヨカ ッツ 一シッ **--** ∃ 力 名オジ ツイチ 培稷子尚植植子不子子子琴子子園子培玉規子 タ D 広 槠 // 金 1 島 浜 沢 ル ル 西

### 支部 所在地

倍 福岡市東薬院二ノ四〇 大阪市阿倍野区阪南町中一ノ三八

高崎市並榎町二七五

新名室松甲金広群福旭阿 甲府市山田町六三 金沢市成瀬町一一ノ四 広島市古田町古江四〇〇ノ三 松本市沢村町一六〇四 **金蘭市幸町八九** 野田方

岡西 古 潟 屋 山町 宮 兵庫県西ノ宮市仁川町四ノ五四 新潟市中大畑町五五七 大阪府豊中市岡町北二ノー八 名古屋市昭和区北山町三ノ四一 電(二十八六六一) 金井方

東京中央支部、

丸山周平(支部長)

佐藤泰

三小岡 宮 能(八二一六〇二) 神戸市灘区篠原本町四ノ三五 岡山市弓野町六一 小樽市富岡町一ノ三五

仙札 ₽ 仙台市光禅寺通り二八 札幌市北二条西二四丁目

東京中央 東京都渋谷区八幡通一ノ三四 電(四〇八一三三〇七) 電(五一〇八九七)

東東 京京 南 東京都大田区南千東町二四九 東京都豊島区千川町一ノニ三ノ七

林義生兄弟の十九名であった。

と経営

(編集一般事務、

予約の整理等)

の小

京 東京都港区青山北町六ノ三四 電(七八二十六一三二)

那普 横柳山東 天 額間 浜井形西 沖繩那覇市松尾区一三九 沖縄宜野湾村野鷺区三二八 横浜市港北区篠原町二九 山口県柳井市今市三九一 電(四九—八七七二) 形市八日町八五〇

> 編 集 後 記

に討議されたが、 「聖徒の道」の編集会議が開かれた。 練習の讃美歌の執筆者南城洸子 捕助組織指導者、 編集長佐藤龍猪兄弟の司会のもとに、 ッドプライス副伝道部長出 席のもとに、 九月十七日の夕方、東京中央支部の一室で (日曜学校) 佐藤襄二、栄子 (MIA) 出席者は、 渡辺正雄 (系図) 上野道 活発

岡田松雄、塚田淑子 生、山田義郎、青木喜久雄、奥山芳美 東京北支部、 福田濃 (支部長) 神崎良太郎

東京西支部、福田真 横浜支部、小泉裕切 (支部長) 石川善次郎

それに東中央地方部長今井一男の兄弟姉妹

報告されると思う。どうか各支部の支部長さ 員の賛成を得た。十一月には各支部の模様が を編集部に送っていただくよう提案され、 支部の支部長に参加を求め、毎月支部だより んの協力をお願いします。 席上編集長から、地方の編集員として、 (小林記) 全

> 月刊 九六一年十月一日発行 聖徒の道し 第五巻第十号

実価 半ヵ年 カ年 部 デ 三〇〇円 五十円

ポ Į C ・ ア ン ۴ ラ ス

発編 行集 人兼

東京都港区麻布広尾町十四 末日聖徒イエス・キリスト教会 北 部 東 伝 道

部

発行所

10月号表紙 -イエス・キリストの受難

扶 家

助 督

協 権

会 の

手 祝

引 福

五.

円

 $\nu$ 

ク

IJ

\_

I は

シ

∄

ン

歌

集

丒

Щ 円 円

应

### 古代ア 総合聖 旧 初 完 日 Æ 信 高 教 Æ 本系図 等協会教科 約 成

の

一句

の

手

引 書 道

Ŧi.

演演Mモ説劇Iル

Ŏ

円

 $\overline{\mathbf{H}}$  $\tilde{\mathbf{H}}$ 

役

員

円

聖

典

中

0) 0

指

導

践

五 五

円円 H 円

五.

Щ

福聖

書

ょ

ŧ 教

杉 Ł

೬

れ

活 づ

 $\Pi$ 

Ŧī.

五.

0

社 新

交

メ

IJ

カ

の生活

探究要覧

聖

書

物

語

五

円

円 円 Щ 円

ĺ

 $\bigcirc$ 

円

子 末

日

一徒

讃美歌

(新版)

几

歌

う :

### 高 Æ 仰箇条の jν 価 価 n 義 n な Æ な ٤ モ Æ る る ン ン 真 真 と 研 は 究 経 珠 約 珠 経 新 合本… 上 訳 質革製合本…一 1001

教

義

と

聖

約

0

 $\bar{\mathbf{H}}$ 

日

曜

校

用

### I A 用

### $\bar{\mathbf{A}}$ くと指 モ 手 ン 引 経 導 研 書 付録 究 0 手 ガ 引: 1 ....... ۴,

指導 讃美 が ダ フォーク 手に 者 ン 基礎 歌及び ス なる法 必 携…… ダンス 知 識 と脚 歌 ..... 本 集 集

> 五. 六

円 円 円

Ŧī.

Ħ.

Щ 円

五.

註文は各支部長